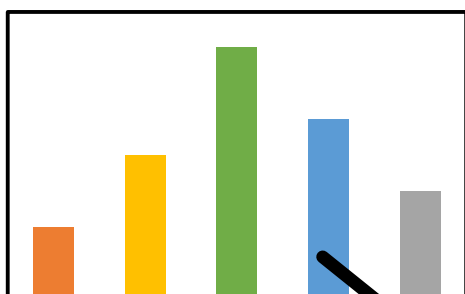


2023グラフで見る

とくしまの農林水産業



徳 島 県

目 次

I	徳島県のすがた	1
II	農 業	4
1	農業の構造	4
(1)	農業経営体	4
(2)	農家数・新規農業就業者数・農業従事者数	5
(3)	農業経営体の状況	6
(4)	経営感覚に優れた経営体の育成	7
(5)	耕地	8
(6)	農業経営	9
2	農業生産	10
(1)	生産の概要	10
(2)	米	12
(3)	野菜	14
(4)	果樹	16
(5)	花き	17
(6)	茶	17
(7)	畜産	18
3	農産物仕向先別出荷動向	20
4	青果物販売動向	21
5	大阪中央卸売市場での県産野菜の位置	22
6	主な農林水産物の輸出・輸入動向	23
III	林業	24
1	徳島県的主要な林業施設等の設置状況	24
2	林業経営体数及び森林面積	25
3	森林資源	26
4	林業生産	27
IV	水産業	28
1	海面漁業	28
2	海面漁業の生産構造	29
3	内水面漁業の生産量	30
4	全国から見た徳島の漁業	30
V	統計表	31

I 徳島県のすがた

■ 主要指標

県 域：東西約107km、南北79km
県土面積：4,146.99km² (R5.4.1時点)
(出典：国土地理院ウェブサイト)
県総人口：719,559人 (令和2年国勢調査)
男：343,265人 女：376,294人

県総世帯数：307,358世帯 (令和2年国勢調査)
県内総生産額：3兆1,852億円 (令和2年度)
うち農林水産業：553億円
県民所得(分配)：2兆1,680億円 (令和2年度)
1人当たり県民所得：301万3千円 (令和2年度)

資料：総務省統計局「国勢調査」

■ 沿 革

徳島県「令和2年度徳島県県民経済計算」

徳島県の前身である阿波国は大化の改新(645年)と呼ばれる政治改革によって成立した。それは、吉野川地域の「粟の国」と県南の「長の国」を合わせて「阿波の国」を置いたと伝えられる。徳島は、古くから淡路(阿波路)を通じ、近畿との交流が頻繁で、平安時代の官道としてもこのルートが使われるなど、近畿の政治文化の影響を強く受けている。

明治維新後、一時期高知県に含まれたこともあったが、明治13年(1880年)にほぼ現在の徳島県が発足した。

徳島県の行政区画は令和4年4月1日現在8市15町1村である。

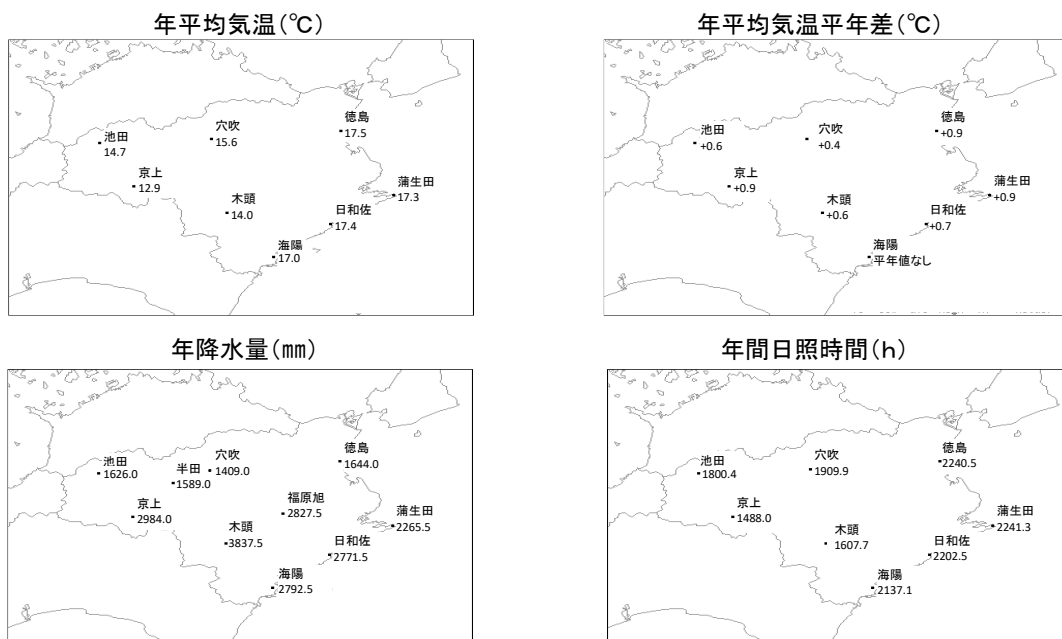
■ 地 勢

本県は、四国の東南部に位置し、山地が多く県土面積のおよそ8割を占めている。

四国第2の高山である剣山(1,955m)を中心とした四国山地が県を南北に分け、県の北辺には讃岐山脈が走り、香川県との境をなしている。この両山地の間を縫って流れる吉野川(四国三郎)は、水源を高知県に発し、三好市池田町から東流するにつれ、広くくさび型となって農業の中心地帯である徳島平野を形成している。

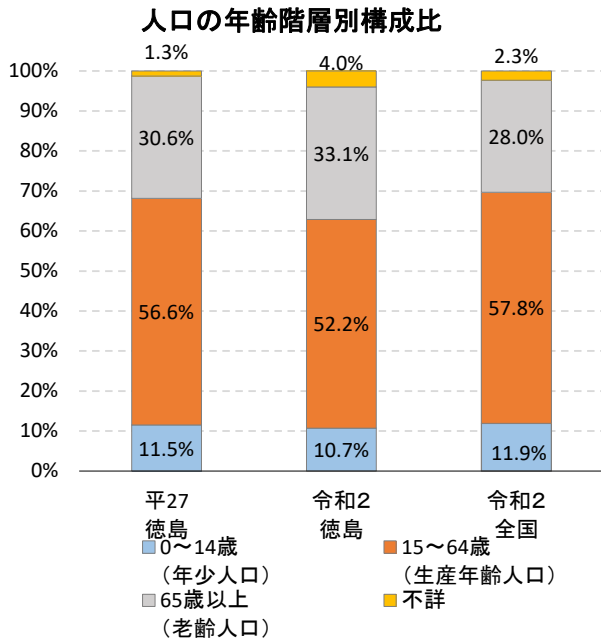
■ 気 象

気候は温暖多雨の地域と瀬戸内海気候の一部の地域からなっており、日照時間も多い。

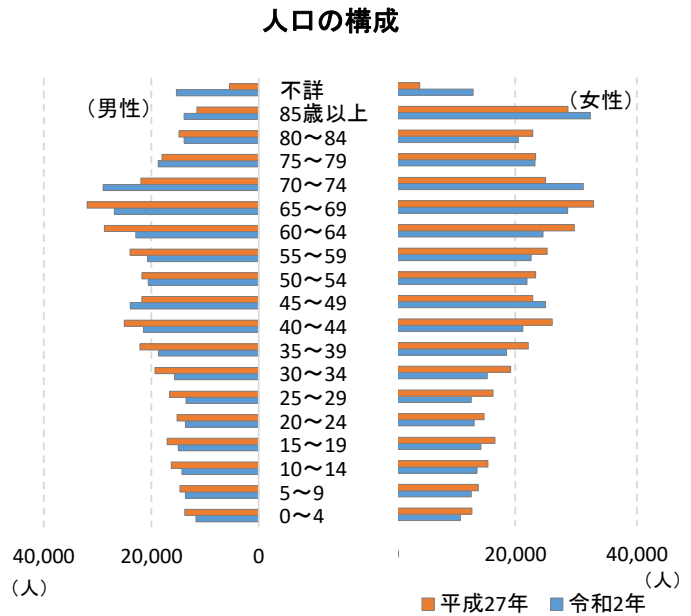


資料：徳島地方気象台「徳島県の年報 2020年」を一部加工

■ 人 口

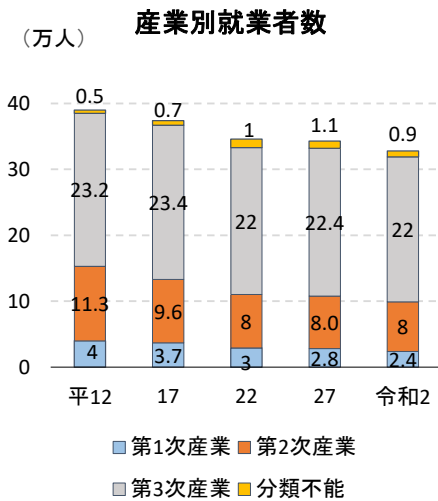


資料：総務省統計局「国勢調査」

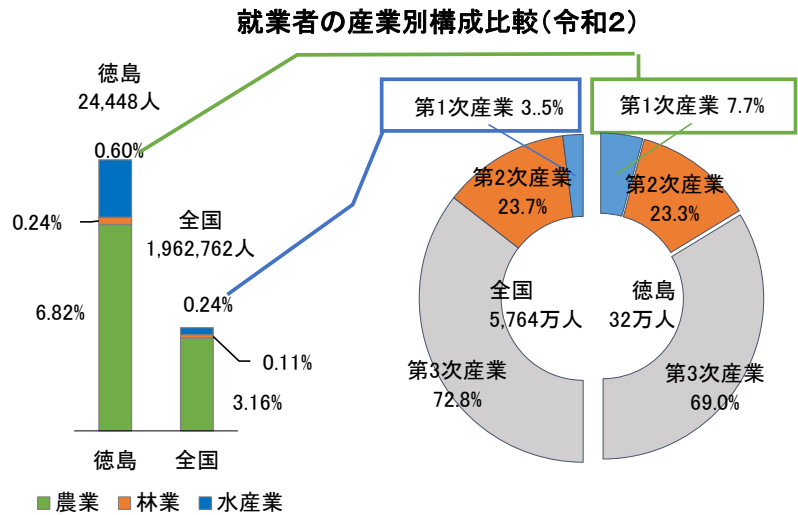


資料：総務省統計局「国勢調査」

■ 就 業



資料：総務省統計局「国勢調査」



注：割合は、分母から「分類不能の産業」を除いて計算している。

資料：総務省統計局「令和2年国勢調査」

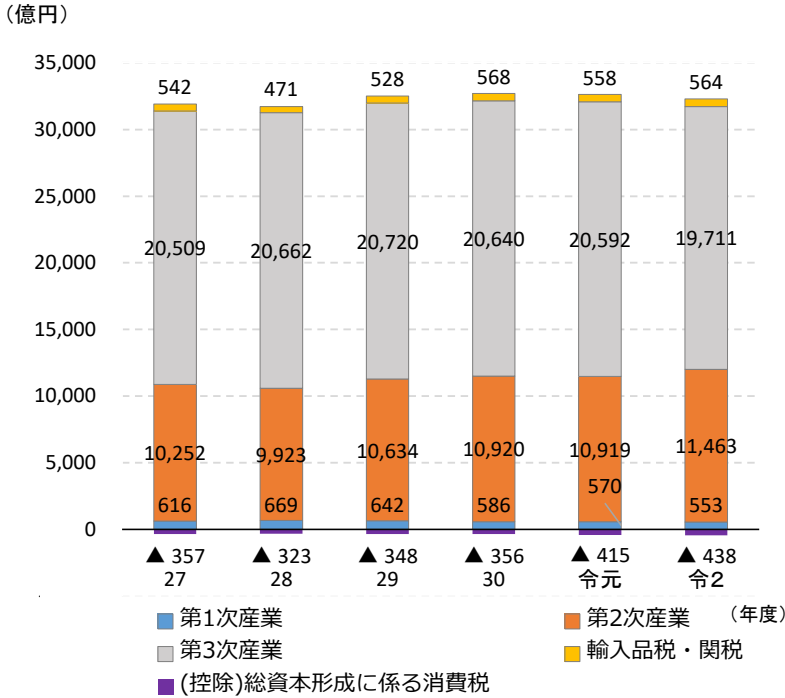
農業就業人口の年齢構成比

令和2年の国勢調査における本県の総人口は71万9,559人で、平成27年に比べ3万6,174人減少した。年齢階層別の構成比をみると、65歳以上の高齢人口が33.1%を占め、全国平均を5.1ポイント上回っており、5年間で2.5ポイント上昇した。

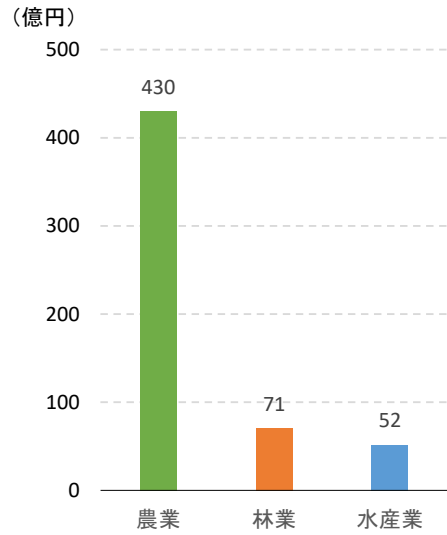
一方、産業別就業者数をみると、第1次産業は2万4,448人で、平成27年に比べ3,638人（13.0%）減少した。

■ 経 済

経済活動別総生産

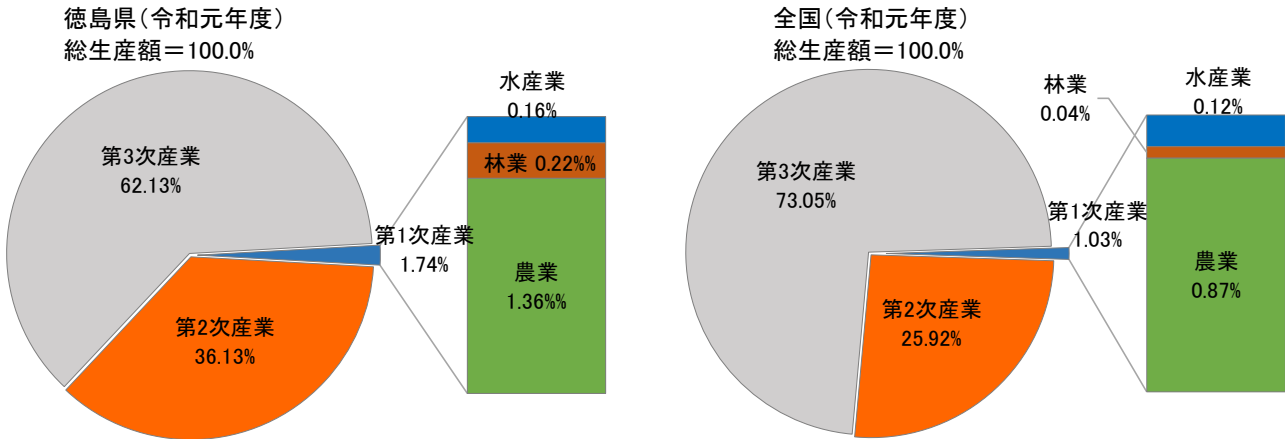


第1次産業生産額
(令和2年度)



資料：徳島県「令和2年度徳島県県民経済計算」

経済構造の全国との比較



注：輸入品に課せられる税、消費税、帰属利子等は含まれていない。

資料：内閣府「令和2年度国民経済計算」

徳島県「令和2年度徳島県県民経済計算」

——農林水産業のウエイトが高い徳島——

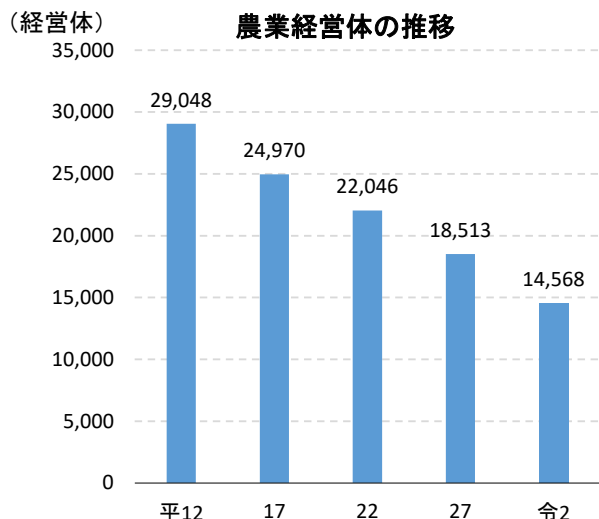
令和2年度の県内総生産は、名目3兆1,852億円、前年度比1.5%減、実質3兆1,920億円、前年度比1.9%減少した。

第1次産業全体では3.1%減の553億円で、農業が1.9%減の430億円、林業が3.0%減の71億円、水産業は12.2%減の52億円となった。

Ⅱ 農 業

1 農業の構造

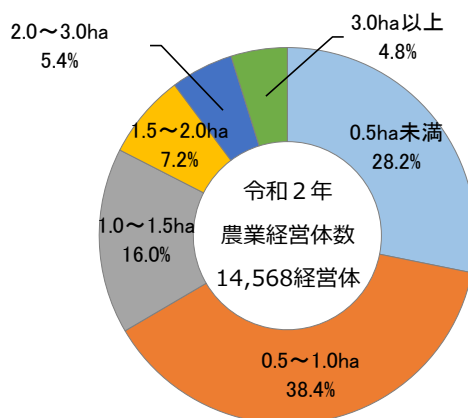
(1) 農業経営体



注：平成12年値は、販売農家、農家以外の農業事業体及び農業サービス事業体の合計値である。

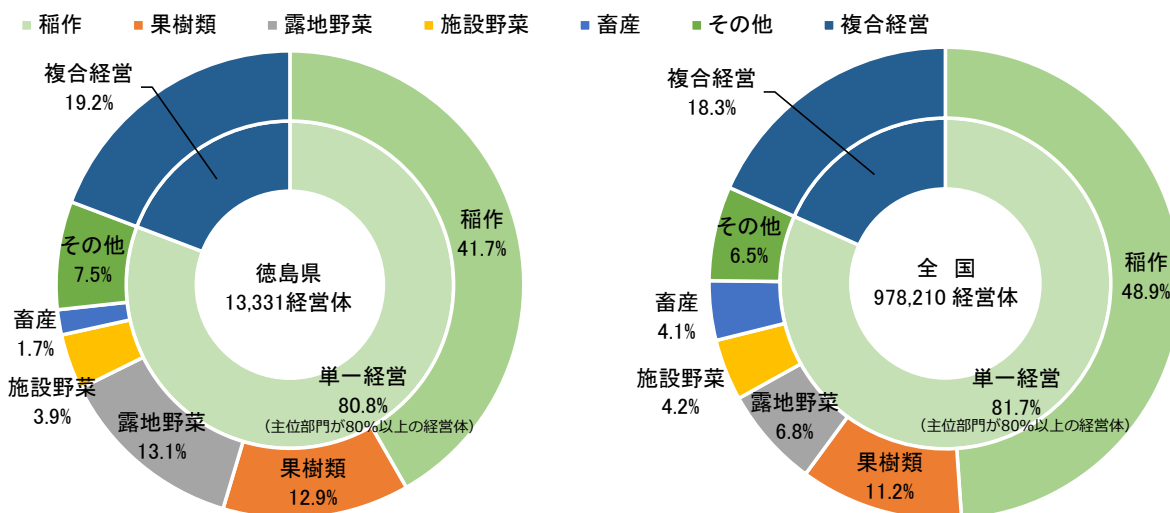
資料：農林水産省「農林業センサス」

経営耕地面積規模別経営体数割合(令2)



資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

農業経営組織別経営体数割合(令2) —販売のあった経営体—



資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

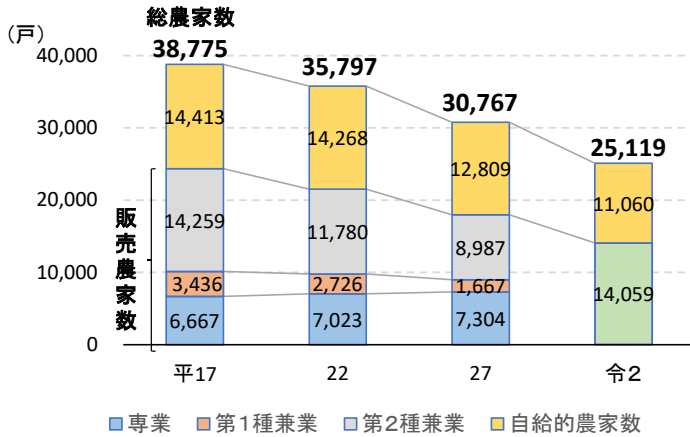
——野菜と果樹のウエイトが高い本県の農業——

2020年農林業センサスにおける本県の農業経営体数は14,568経営体となっており、経営耕地面積が1.0ha以下の経営体が66.6%を占めている。

農業経営体の経営形態を農産物の販売状況からみると、本県は全国に比べ野菜と果樹のウエイトが高い特徴が出ている。これを単一経営体の部門別割合でみると、本県は野菜（露地+施設）が17.0%で全国より6.0ポイント高く、果樹も12.9%で全国より1.7ポイント高くなっている。

(2) 農家数・新規農業就業者数・農業従事者数

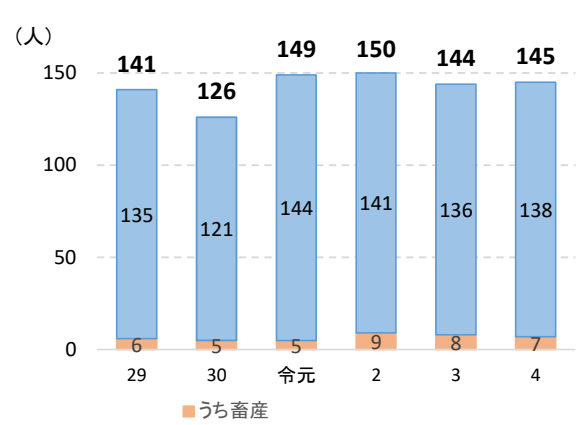
農家数の推移



資料：農林水産省「農林業センサス」

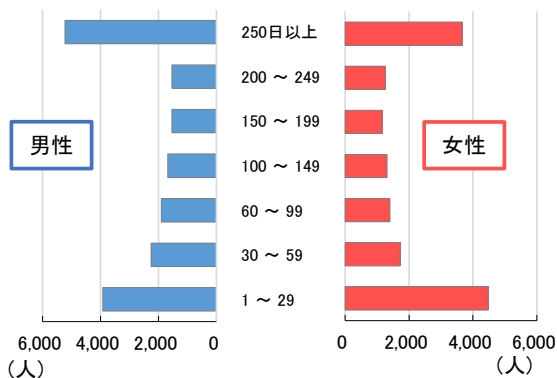
※2020年センサスより専兼別農家数調査は廃止

新規農業就業者数の推移



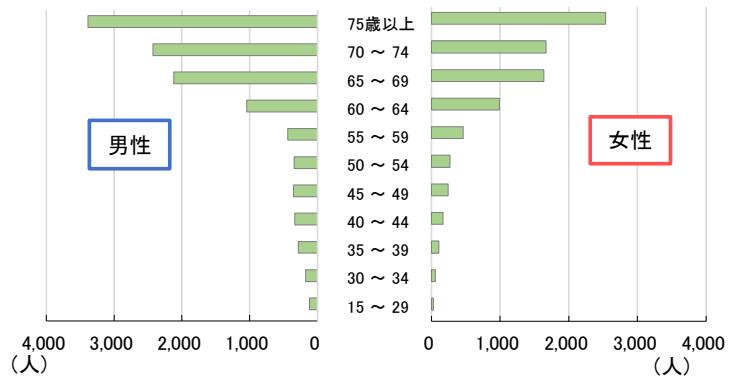
資料：徳島県調べ（推計）

自営農業従事日数別農業従事者数(令2)



資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

年齢階層別基幹的農業従事者数(令2)



資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

基幹的農業従事者数の年齢構成比(令2)

区分	合計	15～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上	
徳島県	男性	11,012	115	172	282	334	351	345	439	1,040	2,118	2,429	3,387
	女性	8,174	28	56	111	168	244	270	461	991	1,636	1,670	2,539
	男女計	19,186	143	228	393	502	595	615	900	2,031	3,754	4,099	5,926
		100.0%	0.7%	1.2%	2.0%	2.6%	3.1%	3.2%	4.7%	10.6%	19.6%	21.4%	30.9%
全国	男性	822,144	12,712	15,310	21,604	25,815	27,462	29,524	42,503	77,224	149,104	162,649	258,237
	女性	540,894	3,352	4,942	8,615	11,887	15,769	20,645	34,230	62,823	103,564	101,544	173,523
	男女計	1,363,038	16,064	20,252	30,219	37,702	43,231	50,169	76,733	140,047	252,668	264,193	431,760
		100.0%	1.2%	1.5%	2.2%	2.8%	3.2%	3.7%	5.6%	10.3%	18.5%	19.4%	31.7%

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

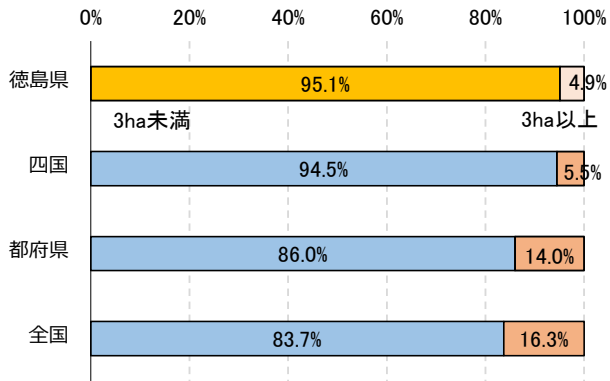
———65歳以上の基幹的農業従事者数は全国より2.2ポイント高い———

2020年農林業センサスによると、本県の総農家数は2万5,119戸であり、そのうち販売農家（経営耕地面積が30アール以上または農作物販売金額が50万円以上の農家）は1万4,059戸であった。

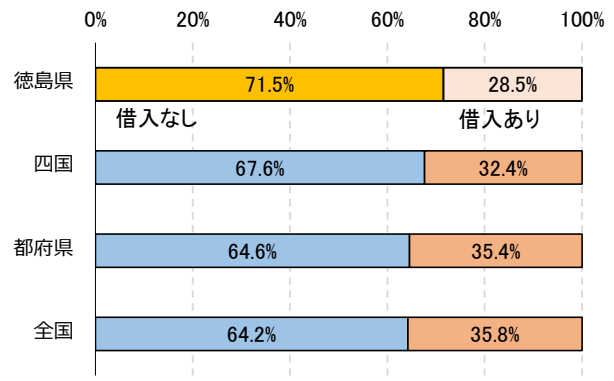
また、本県の基幹的農業従事者数（ふだん仕事として自営農業に従事した世帯員数）は1万9,186人であり、そのうち、65歳以上が1万3,779人と全体の71.8%を占めている。男女別で見ると女性の割合が42.6%となっている。

(3) 農業経営体の状況（令和2年2月1日現在）

経営耕地面積規模別経営体数の割合

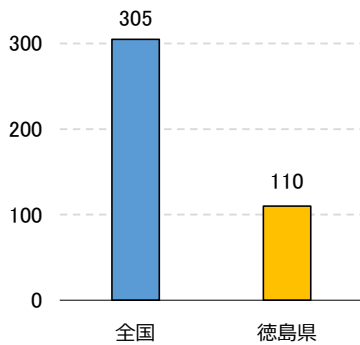


借入耕地のある経営体数の割合

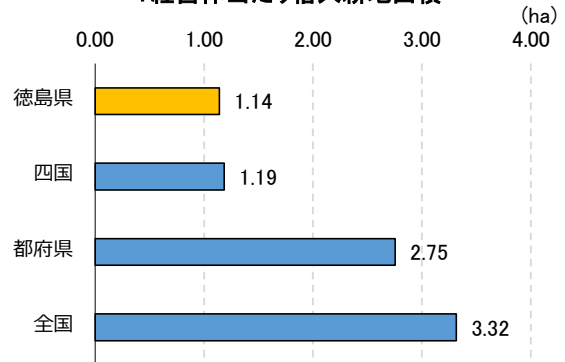


1経営体当たり経営耕地面積(令2)

(a)



1経営体当たり借入耕地面積



経営耕地面積規模別経営体数のまとめ表

区 分		単 位	徳島県	四国	都府県	全国
(A)	農業経営体	経営体	14,568	65,418	1,040,792	1,075,705
(B)	経営耕地のある経営体	"	14,428	64,818	1,024,712	1,058,754
(C)	経営耕地3ha以上の経営体	"	705	3,561	143,315	172,209
(D)	借入耕地のある経営体	"	4,105	20,982	363,058	379,009
(E)	経営耕地面積（農業経営体）	ha	15,932	74,423	2,204,461	3,232,882
(F)	借入耕地面積（農業経営体）	"	4,683	24,882	999,971	1,257,126
経営耕地3ha以上の経営体数割合 D/C		%	4.9%	5.5%	14.0%	16.3%
借入耕地のある経営体の割合 E/C		"	28.5%	32.4%	35.4%	35.8%
1経営体当たり経営耕地面積 F/C		ha	1.10	1.15	2.15	3.05
1経営体当たり借入耕地面積 G/E		ha	1.14	1.19	2.75	3.32

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

(4) 経営感覚に優れた経営体の育成

ア 認定農業者の数（令和4年3月末現在）

区分	認定農業者	うち法人
徳島県	1,908	224
中国四国	18,670	3,235
全国	222,442	27,974

認定農業者制度とは、「農業経営基盤強化促進法」に基づき適用されるもので、経営改善に意欲ある農業者が農業経営の改善計画を作成し、その計画を市町村の基本構想に照らして認定する制度であり、次のような支援措置が設けられている。

- ・ 農業委員会等による農地利用集積の支援
- ・ 税制上の特例
- ・ 制度資金の融資配慮
- ・ 農業者年金の保険料の助成
- ・ 経営相談、研修等の実施等

資料：認定農業者の認定状況（農林水産省経営局調べ）

イ 農業経営体の法人化状況（令和2年2月1日現在）

区分	農事組 合法人	株式会社 (特例有限会 社を含む)	合名・ 合資会社	合同会社	各種団体	その他 法人	合計
徳島県	32	221	3	10	18	9	293
中国四国	1,248	2,002	20	102	331	199	3,902
全国	7,329	18,942	168	867	2,076	1,325	30,707

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

ウ 農業生産関連事業を行っている経営体数（令和2年2月1日現在）

区分	農産物の 加工	消費者に 直接販売	貸農園・ 体験農園等	観光農園	農家民宿	農家レストラン	海外への 輸出	その他	農業生産関連 事業を行って いる実経営体 数
徳島県	356	2,216	13	23	20	12	5	49	2,504
中国四国	4,209	32,701	109	450	138	149	26	851	35,730
全国	29,950	207,600	1,533	5,275	1,215	1,244	412	7,255	230,834

注：事業種別は重複するため合計と実経営体数は一致しない。

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

——多様な担い手づくりの推進——

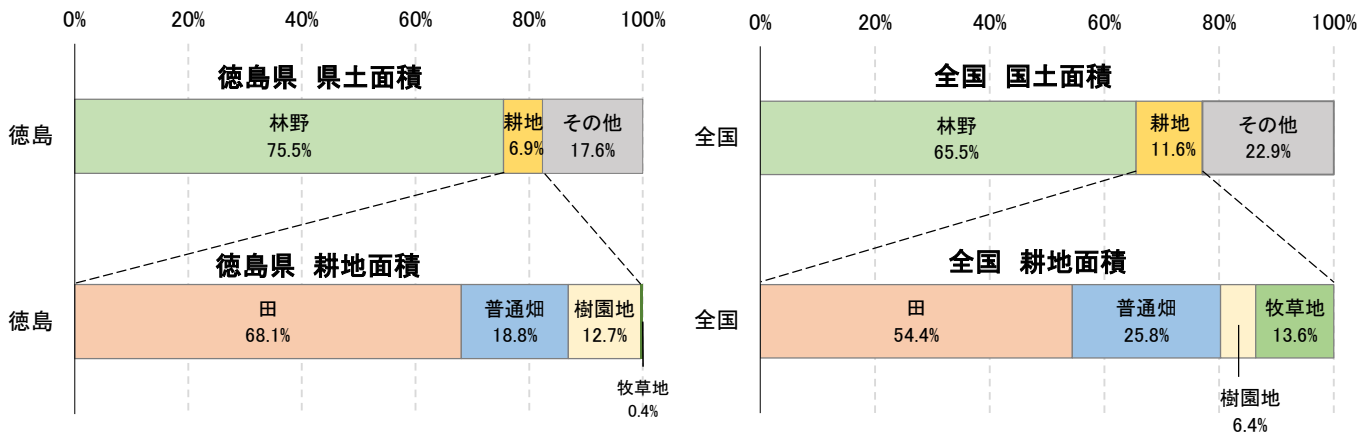
認定農業者や農業法人などの経営感覚に優れた意欲ある担い手や集落営農組織を育成するため、経営情報の提供、技術・経営指導、融資等の支援を行っている。また、農村地域を支える女性やこれからの本県農業の担い手としての活躍が期待されている青年農業者や新規就農者の育成など、農業農村の多様な担い手の育成を推進している。

令和4年3月末現在の認定農業者数は1,908経営体であり、前年度と比べ10経営体減少した。

認定農業者のうち法人は224法人で、前年度と比べ8法人増加した。

(5) 耕地

土地利用の割合(令2)

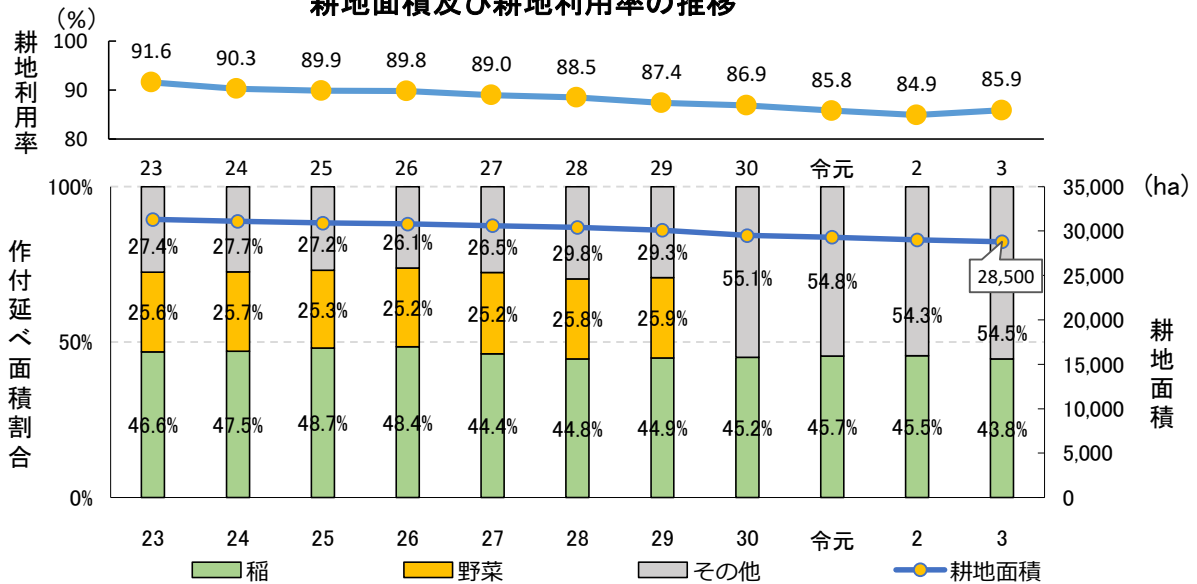


資料：面積は、国土地理院「令和2年全国都道府県市区町村別面積調」

林野面積は、農林水産省「2020年農林業センサス」

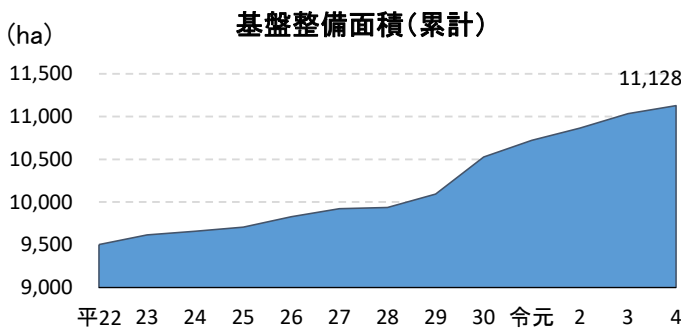
耕地面積は、農林水産省「作物統計調査」(令2)

耕地面積及び耕地利用率の推移

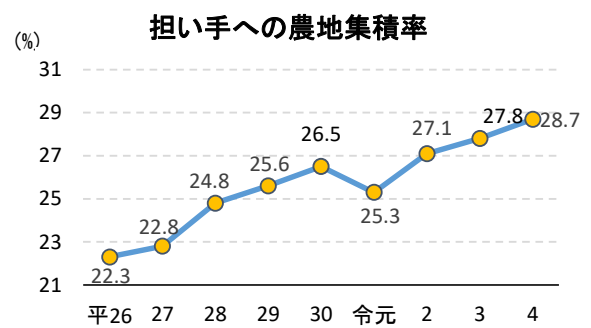


資料：農林水産省「作物統計調査」

※平成29年より「野菜」の「作付け延べ面積」が非公表となり、「その他」に含まれる。



資料：徳島県調べ



資料：農林水産省「都道府県別の担い手への農地集積率」(令和4年度)

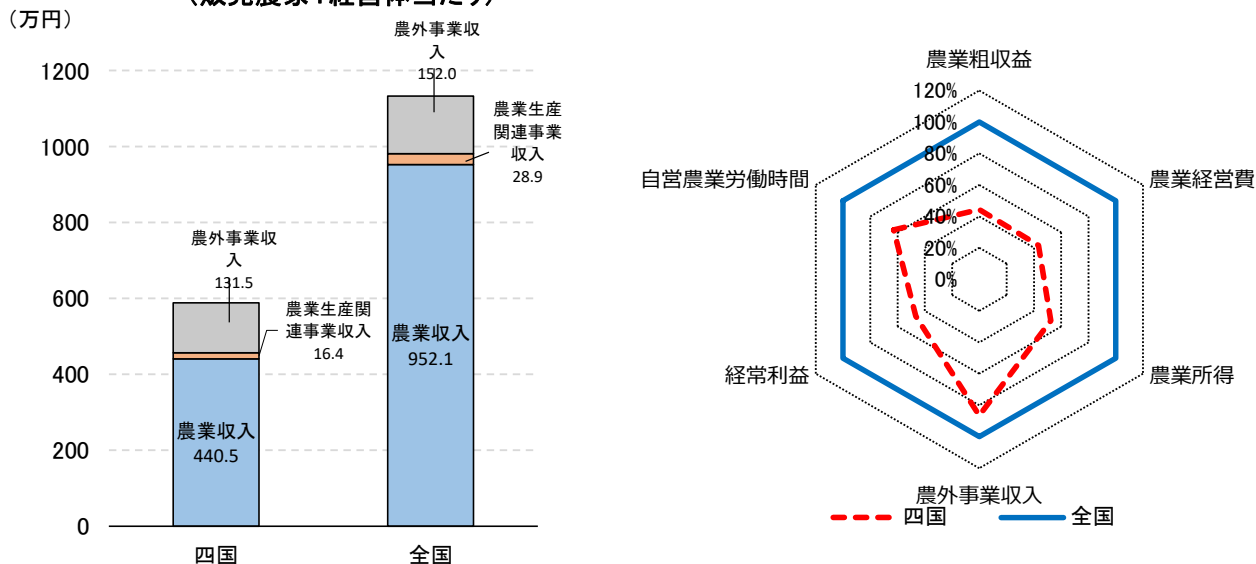
環境に調和した農業生産基盤の整備

農業の生産性向上や野菜、麦、大豆など多様な作物の栽培が可能となるよう、良好な営農条件を備えた農地、農業用水を確保するため、環境に調和した、ほ場整備、用排水路、農道等の生産基盤を整備するほか、自然災害対策として、農地や農業施設の保全や機能回復等についても対策を図っている。

令和3年「作物統計調査」における耕地面積は2万8,500haで、前年と同じであった。また、耕地利用率は85.9%であり、全国平均91.4%をやや下回っている。温暖な気候と恵まれた土地条件等を活かして、吉野川中下流域平野部では冬野菜を中心とする園芸産地が形成されるなど、土地が有効活用されている一方で、中山間地域などでは耕作放棄地の発生などの課題が生じている。

(6) 農業経営

農業収入及び農外収入等(令3)
(販売農家1経営体当たり)



農業経営の指標(令3)(個別経営・販売農家1経営体当たり)

項目		単位	四国	全国	全国比(%)
農業粗	収益	千円	4,779	10,769	44.4%
農業	経営費	千円	4,122	9,515	43.3%
農業	所得	千円	657	1,254	52.4%
農業生産関連事業及び農外事業収入		千円	1,479	1,809	81.8%
共済・補助金等受取金		千円	358	1,198	29.9%
租税公課諸負担		千円	109	233	46.8%
農業依存度		%	84.9	76.3	*7.6%
農業所得率		%	13.7	11.6	*2.4%
付加価値額		千円	1,273	2,781	45.8%
農業固定資産額(土地を除く)		千円	2,320	5,914	39.2%
自営農業労働時間		時間	1,597	2,541	62.8%
経営耕地面積		a	116.6	366.9	31.8%
集約度	10a当たり自営農業労働時間	時間	137	69	197.8%
	10a当たり農業固定資産額	千円	199	161	123.4%
収益性(所得)	農業従事者1人当たり	円	181	291	62.2%
	農業固定資産千円当たり	円	283	212	133.5%
生産性(付加価値額)	経営耕地面積10a当たり	千円	109	76	143.4%
	農業従事者1人あたり売上高	円	1,565	2,575	60.8%
	農業固定資産千円当たり	円	549	470	116.8%

資料：農林水産省「農業経営統計調査」(令3)

*はポイント差

令和3年の四国における販売農家1経営体あたりの農業所得は65万7,000円となった。農業純生産(農業生産によって新たに生み出された付加価値額)を経営耕地面積10a当たりで見ると、約11万円 で全国平均の約1.4倍となっている。

2 農業生産

(1) 生産の概要

ア 農業生産の現状（作物別統計表）

項目	年次	作付(栽培) 面積 (ha)	収穫量 (t)	全国比較				
				作付(栽培)面積		収穫量		
				シェア	順位	シェア	順位	
耕	水 稲	R4	9,910	47,600	0.70%	40	0.65%	40
	小 麦	"	73	234	0.03%	39	0.02%	37
	二 条 大 麦	"	38	105	0.10%	19	0.05%	19
	は だ か 麦	"	19	32	0.32%	19	0.19%	19
	か ん し ょ	R3	1,090	27,100	3.36%	5	4.03%	5
	き ゆ う り	R3	63	6,900	0.63%	37	1.25%	23
	ト マ ト	"	84	5,100	0.74%	38	0.70%	32
	う ち ミ ニ ト マ ト	"	26	1,300	0.97%	25	0.80%	25
	な す	"	91	6,220	1.10%	32	2.09%	13
	し し と う	"	10	124	3.41%	6	2.18%	7
	え だ ま め	"	245	1,210	1.91%	15	1.69%	12
	は く さ い	"	79	3,360	0.48%	31	0.37%	30
	キ ャ ベ ツ	"	144	6,640	0.42%	36	0.45%	32
	ほ う れ ん そ う	"	374	2,780	1.94%	16	1.32%	23
	ブ ロ ッ コ リ ー	"	974	11,600	5.76%	6	6.76%	5
	カ リ フ ラ ワ ー	"	84	1,920	6.77%	6	8.89%	5
レ タ ス	"	277	5,900	1.39%	14	1.08%	14	
種	ね ぎ	"	253	3,170	1.16%	29	0.72%	29
	だ い こ ん	R3	345	23,300	1.18%	26	1.86%	14
	に ん じ ん	"	937	49,900	5.54%	4	7.85%	3
	れ ん こ ん	"	520	4,850	13.07%	2	9.42%	3
	ゆ ず	R2	331	2,951	14.45%	2	12.06%	2
	す だ ち	"	389	3,772	98.11%	1	98.08%	1
	み か ん	R3	673	9,180	1.73%	15	1.23%	16
	日 本 な し	"	204	4,360	1.91%	14	2.36%	13
う め	"	120	395	0.83%	21	0.38%	21	

注：野菜の作付面積及び収穫量、果樹の収穫量については、調査対象都道府県順位。

資料：農林水産省「作物統計（普通作物・飼料作物・工芸農作物）」「野菜生産出荷統計」「果樹生産出荷統計」

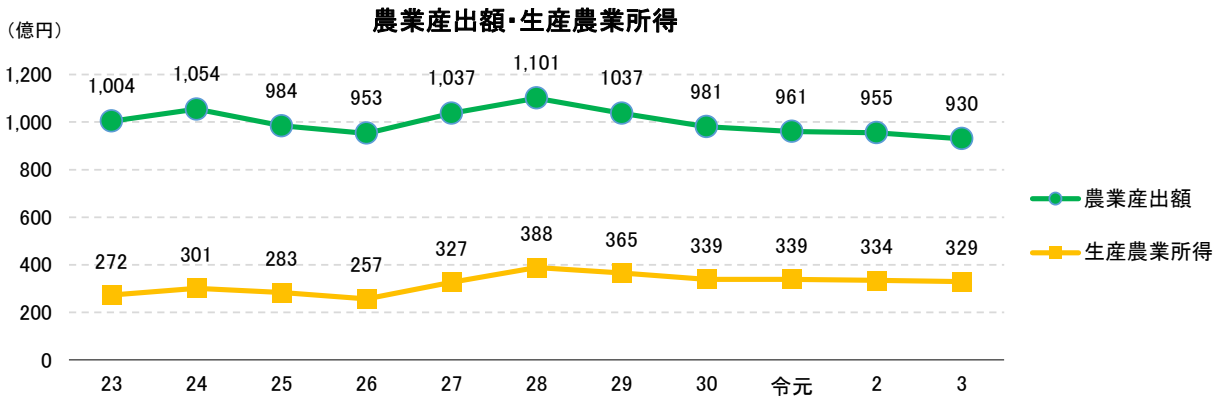
ゆず・すだちは「特産果樹生産動態等調査」（徳島県調べ）

項目	単位	調査期日	飼養頭羽数	全国比較		
				シェア	順位	
畜	肉 用 牛	頭	R4.2.1	22,500	0.9%	26
	乳 用 牛	"	"	3,920	0.3%	33
	豚	"	"	46,500	0.5%	32
産	採 卵 鶏	千羽	"	831	0.5%	34
	ブ ロ イ ラ ー	"	"	4,254	3.1%	6

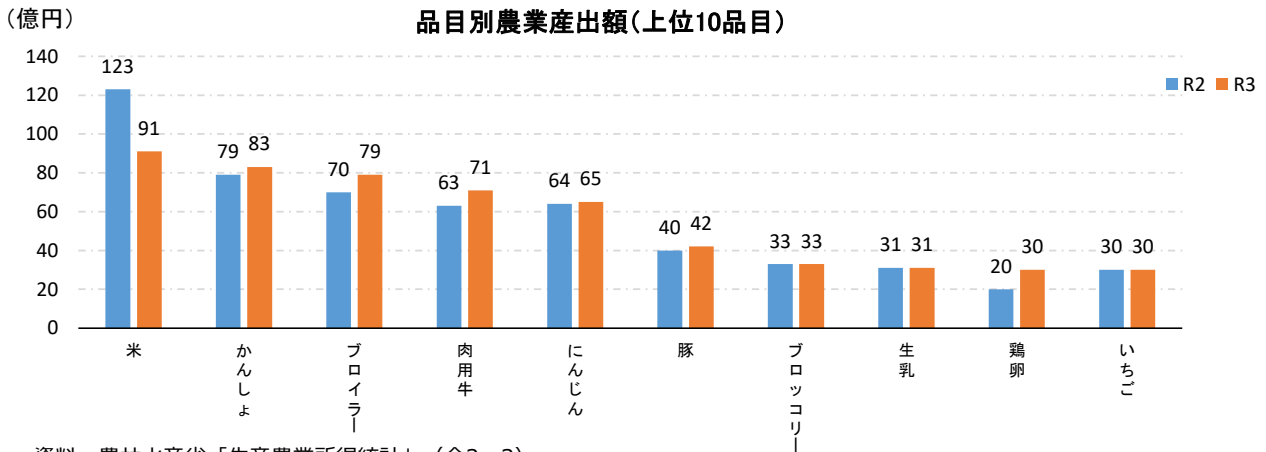
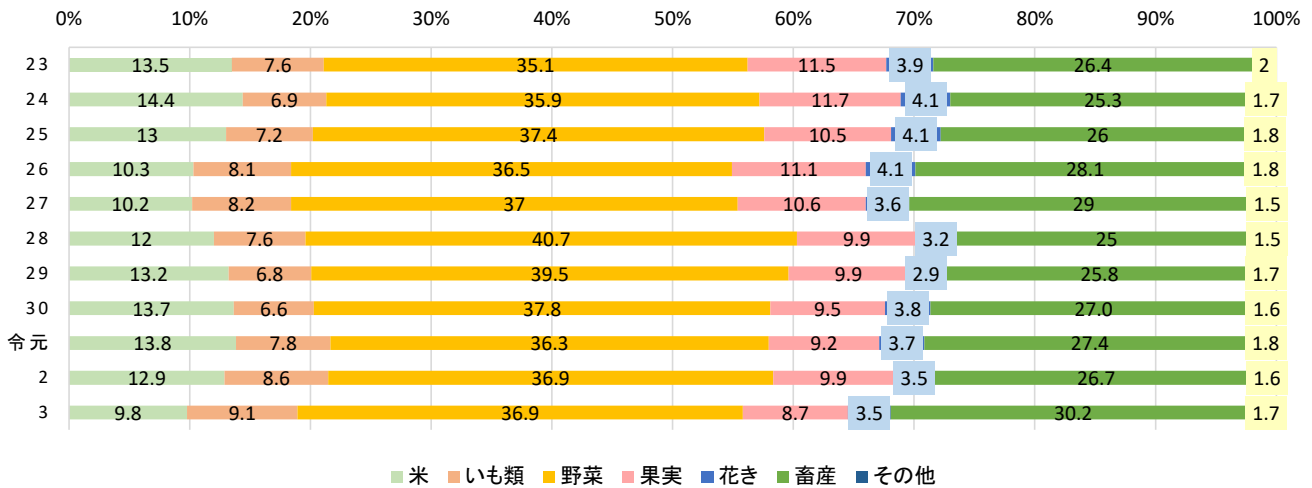
資料：農林水産省「畜産統計調査」

注：令和2年度は農林業センサスの年に当たるため、豚、採卵鶏、ブロイラーの調査休止。

イ 農業産出額・生産農業所得



農業産出額の部門別構成比の推移



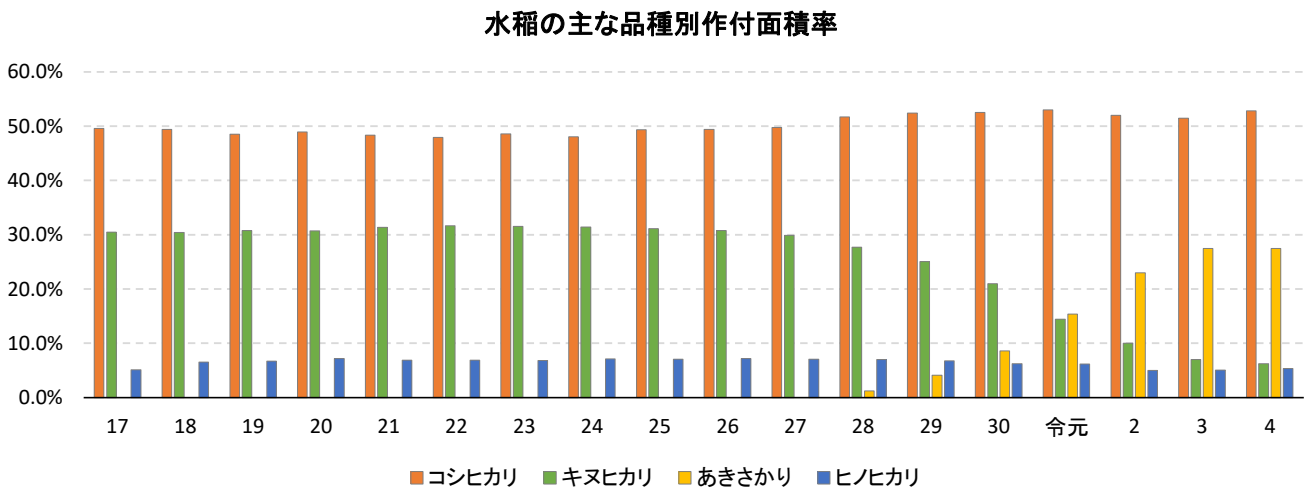
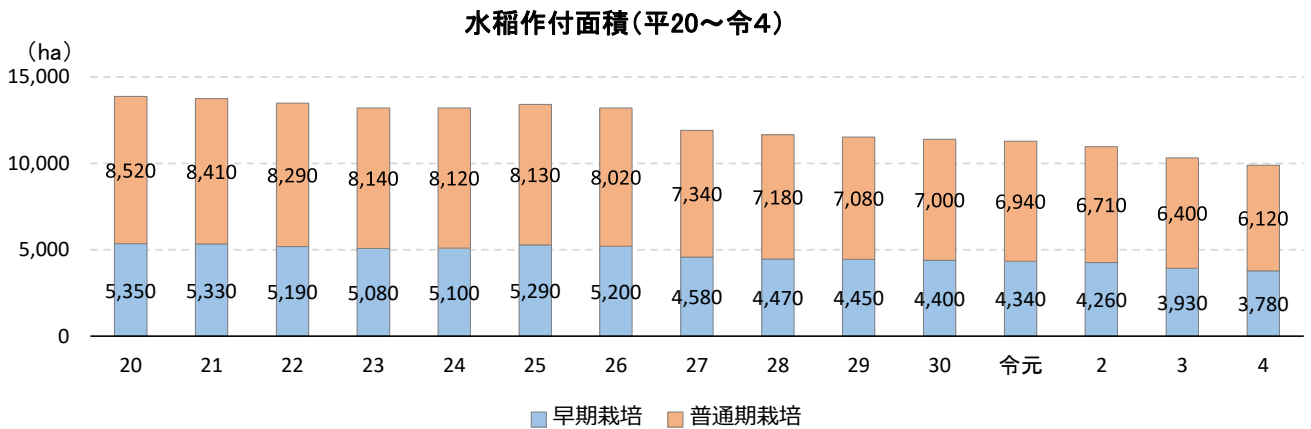
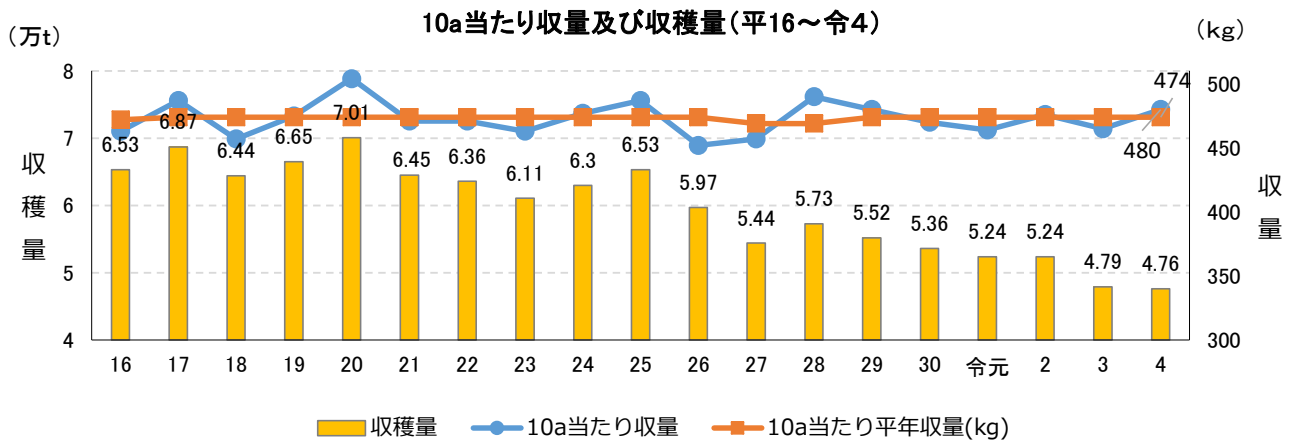
資料：農林水産省「生産農業所得統計」（令2・3）

徳島県における令和3年の農業産出額は、930億円となり、令和2年の955億円より25億円下回った。

部門別では、野菜が36.9%を占めもっとも高く、次いで畜産30.2%、米9.8%、いも類9.1%の順となっている。

品目別では、米、かんしょ、ブロイラー、肉用牛、にんじんの順となっており、上位5品目で全体の約40%を占めている。

(2) 米



———10a 当たり収量は、480kg———

令和4年産水稻の作付面積は9,910haで、前年に比べ390ha減少した。
 10a当たり収量は480kgで、作況指数は102となり、収穫量は4万7,600tとなった。
 品種別の作付状況は、全体の49.1%がコシヒカリ、32%があきさかりとなっている。

令和3年度経営所得安定対策の取組状況

項 目	実 績
経営所得安定対策交付件数	4,203件
経営所得安定対策交付額	15.5億円
①水田活用の直接支払交付件数	4,203件
水田活用の直接支払交付額	15.2億円
水田活用の直接支払交付面積	3,570ha
②畑作物の直接支払交付件数	42件
畑作物の直接支払交付額	0.3億円

令和3年度経営所得安定対策における助成実績の内訳

作 物 名	助成対象面積 (ha)
麦	56
大豆	9
そば	2
飼料作物	93
加工用米	20
WCS用稲	217
米粉用米	11
飼料用米	881
輸出用米	41
その他(野菜・果樹・地力増進作物等)	2,240
合 計	3,570

———需要に応じた米づくりの推進———

徳島県における令和3年度の経営所得安定対策の交付額は約15.5億円となった。

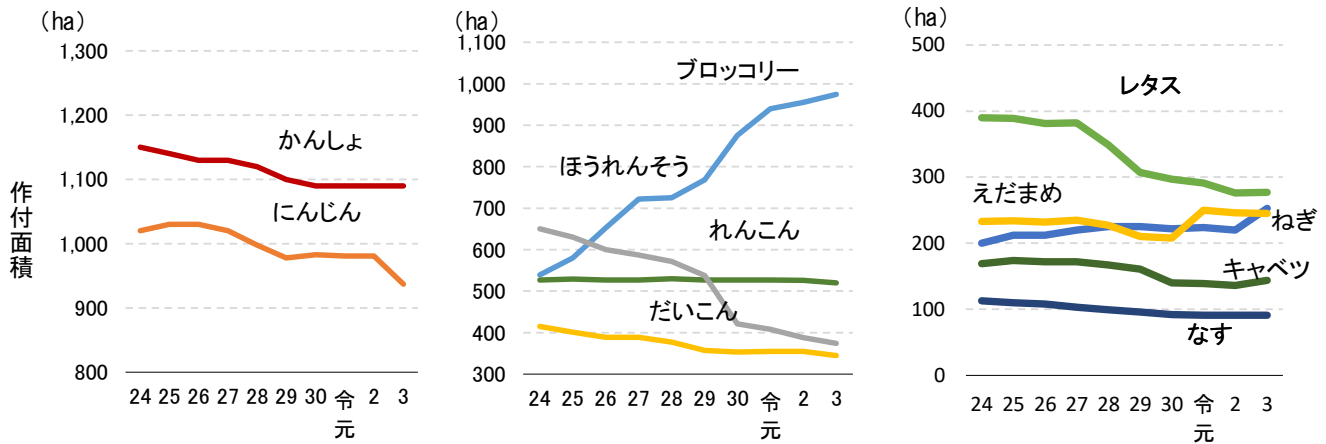
水田農業の振興方針をとりまとめた「徳島県水田フル活用ビジョン」に基づき、需要に応じた米の生産を推進し、飼料用米、米粉用米、WCS用稲等の「新規需要米」の作付け面積は約1,150haとなった。

また、各県で助成内容が設定できる「産地交付金」を活用し、地域が産地化を進める野菜等の作付拡大に対する助成を行い、本県園芸品目の産地づくりが継続されるよう措置を行った。

一方、県産酒米を100%使用した地酒ブランド「阿波十割」の需要促進と併せて、原料となる酒米の産地化にも取り組んでいる。

(3) 野菜

主要野菜の作付面積(ha)



資料：農林水産省「作物統計（普通作物・飼料作物・工芸農作物）」「野菜生産出荷統計」

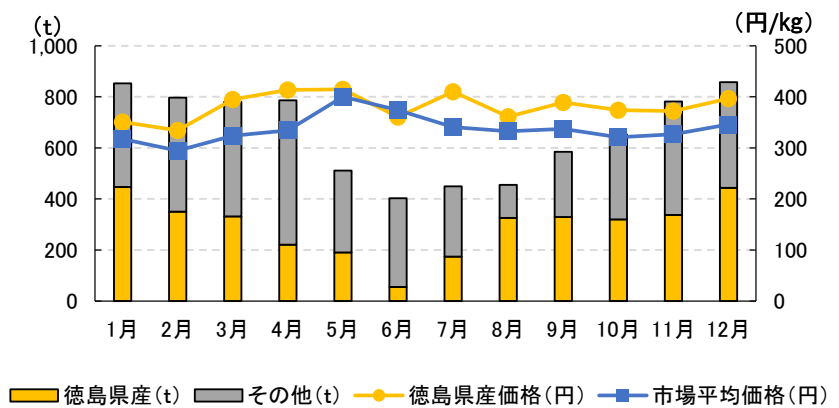
かんしょ(さつまいも)の作付面積及び収穫量

収穫量の全国上位都道府県(令3)

順位	都道府県	作付面積 (ha)	収穫量 (t)
—	全国	32,400	671,900
1	鹿児島	10,300	190,600
2	茨城	7,220	189,200
3	千葉	3,800	87,400
4	宮崎	3,020	71,000
5	徳島	1,090	27,100
6	熊本	782	18,000

資料：農林水産省「作物統計」

大阪中央卸売市場における月別取扱量及び価格(令3)



主要野菜の作付面積の年次推移は、れんこんやなすなどほぼ横ばいの品目や、ほうれんそうやレタスなど減少傾向の品目があるが、ブロッコリーについては平成24年頃から増産を図ってきたことより、年々増加傾向にある。

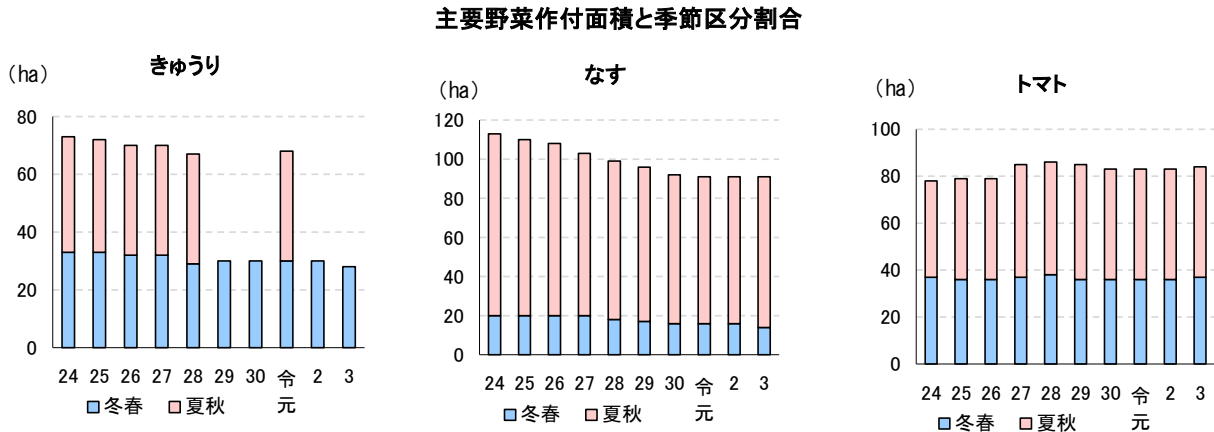
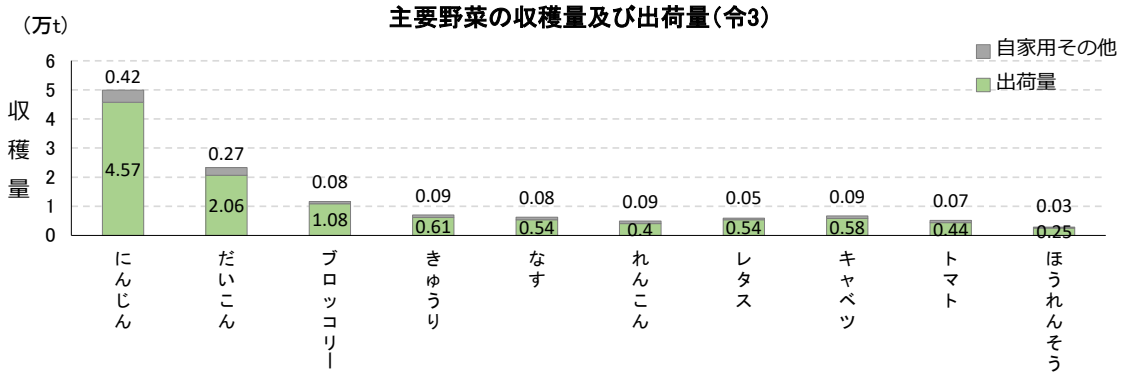
かんしょの収穫量は2万7,100 tで、全国第5位である。

かんしょの5割以上はでん粉や焼酎用等に向けられるが、徳島県産は「なると金時」として市場に出荷され京阪神市場で高いシェアがある。大阪中央卸売市場では、食味の良さが評価され市場平均価格に比べ本県産の価格は約1割高となっており、取扱量も全体の約4割を占め、第1位となっている。

情報の受発信機能の強化を目指す

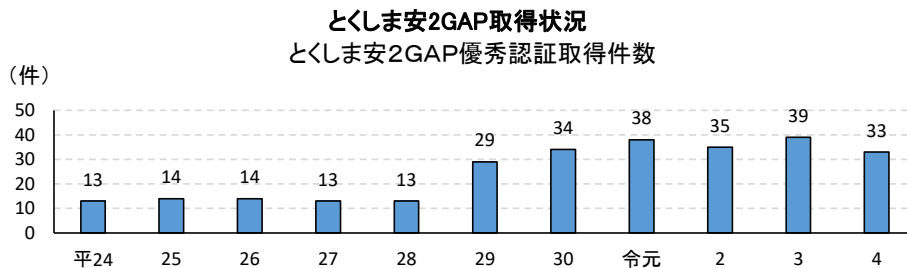
徳島の豊かな食に共感し、応援いただく「阿波ふうどスペシャリスト」制度の創設をはじめ、平成28年度にマーケットイン型の産地づくりを目指す「地域商社 阿波ふうど」を設立するとともに、平成29年度には首都圏での情報発信を推進するため東京（渋谷）に「TurnTable」を開設し、さらには、「新鮮なっ！とくしま号」につづく2台目のPR車両として、調理機能や機動力を備えた「でり・ぱりキッチン阿波ふうど号」を導入した。

こうした徳島県ならではの機能とツールを有効に活用し、徳島県の農林水産物のプロモーションを展開している。



区分	きゅうり			なす			トマト		
	作付面積	季節区分		作付面積	季節区分		作付面積	季節区分	
		冬春	夏秋		冬春	夏秋		冬春	夏秋
平23	73	33	40	113	20	93	78	37	41
24	72	33	39	110	20	90	79	36	43
25	70	32	38	108	20	88	79	36	43
26	70	32	38	103	20	83	85	37	48
27	67	29	38	99	18	81	86	38	48
28	69	30	-	96	17	79	85	36	49
29	69	30	-	92	16	76	83	36	47
令元	68	30	38	91	16	75	83	36	47
2	68	30	-	91	16	75	83	36	47
3	63	28	-	91	14	77	84	37	47

資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

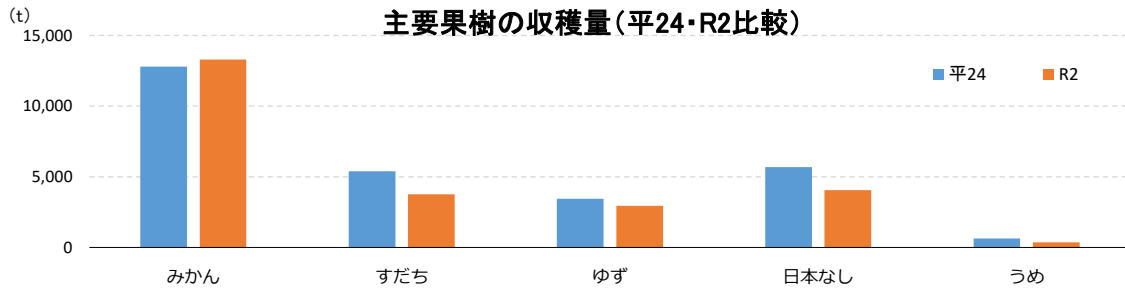
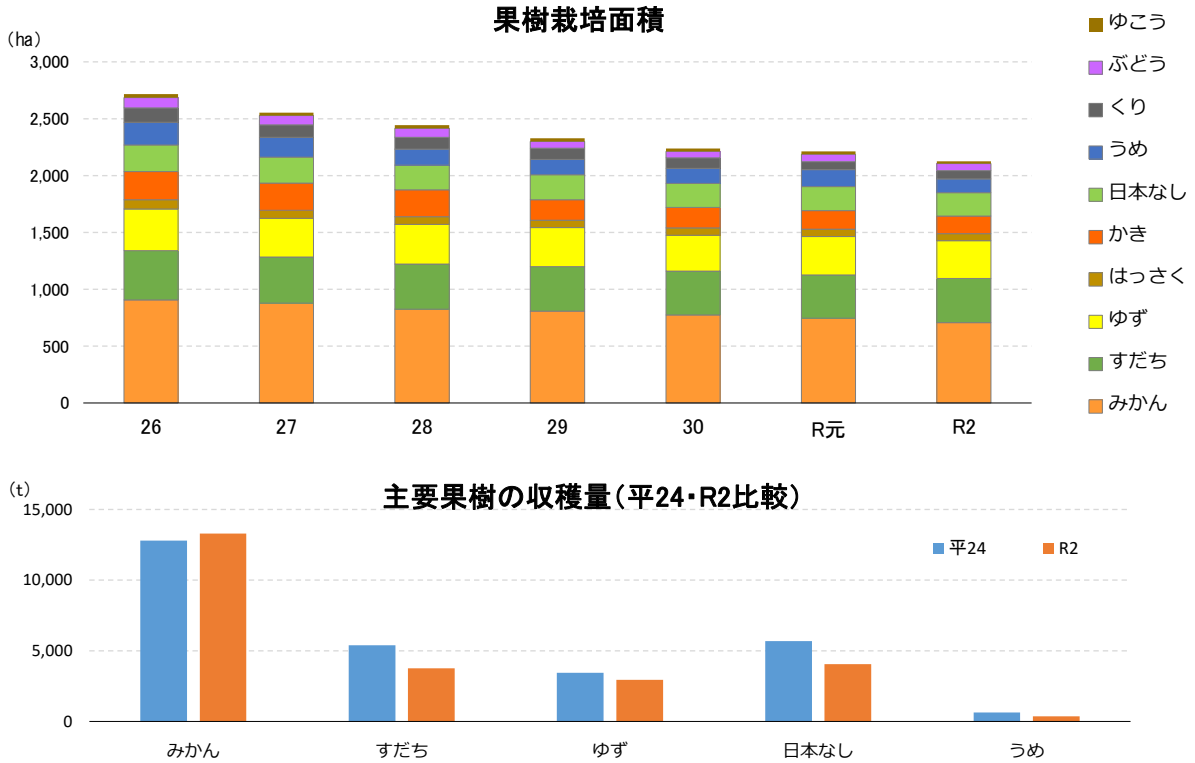


「新時代を拓く とくしまブランド戦略」の推進

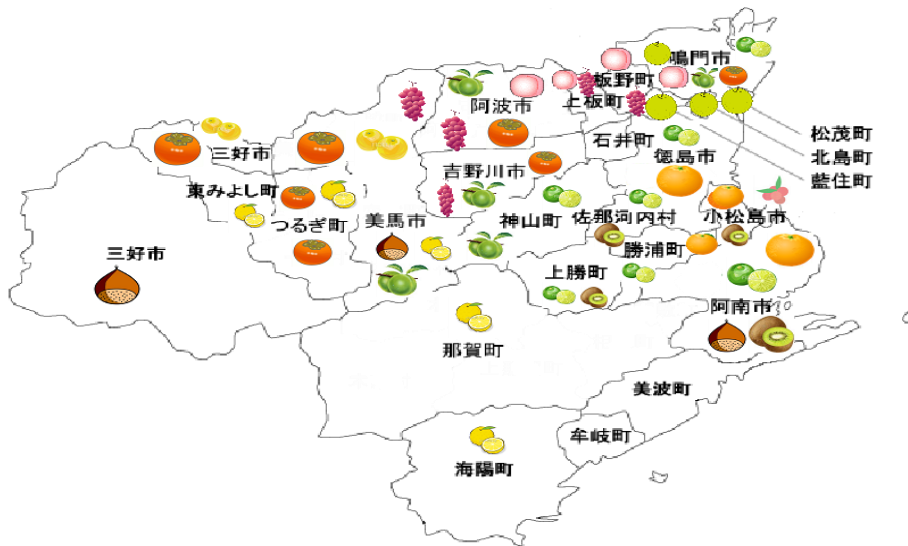
徳島県は、山・川・海の豊かな自然と卓越した生産技術によって育まれた、安全・安心で優れた食材が豊富にあり、またそれら全てが美味しいという、まさに「食材の宝庫」。これら徳島の豊かな食を通して、つくる人、食べる人をはじめ、関わる人の全てが幸せになれる取組を進めるとともに、WITHコロナ・アフターコロナの新たな時代を切り拓く取組を、「オール徳島」体制で推進し、「選ばれる徳島県産品」・「もうかる農林水産業」の実現を図る。

本県では農業生産において、適正な工程管理を実施する取組を知事が「とくしま安2GAP農産物」として認証している。令和4年には76件（677経営体）が認証を取得しており、このうち「優秀認定」は33件（102経営体）である。

(4) 果樹



徳島県の主要果樹栽培分布図

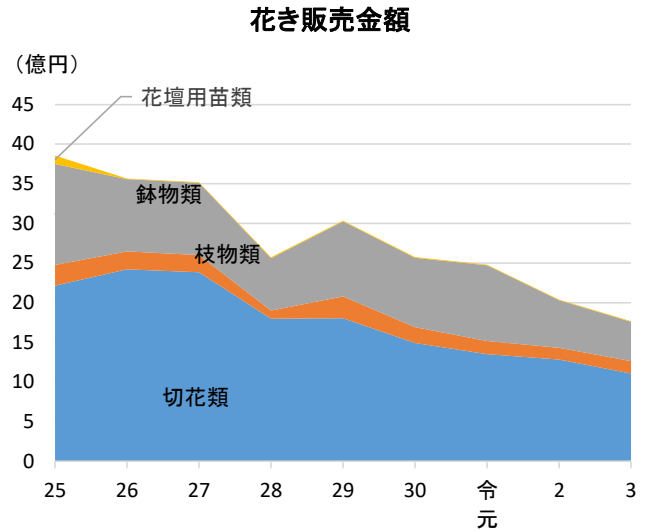
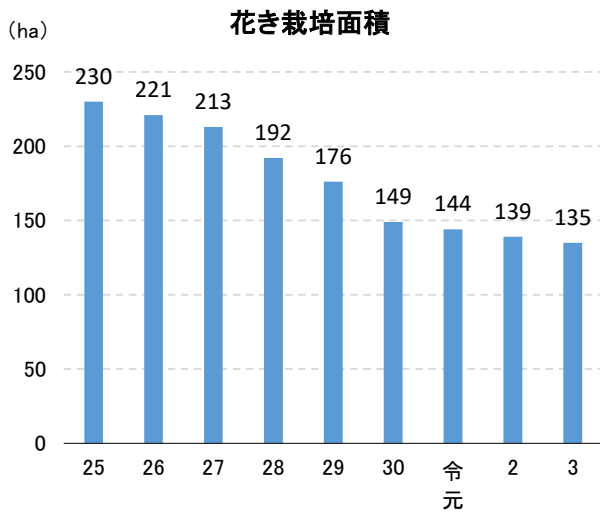


——ブランド果実の生産拡大を推進——

本県は、平成23年に策定した「徳島県果樹農業振興計画書」に基づいて、恵まれた自然環境のもと、すだちに代表されるブランド品目等の高品質な果実の生産振興を図っているが、近年は高齢化等により生産量が減少傾向にある。

R2年産の果樹の栽培面積は2423haで、種類別面積割合は、みかん29.1%、その他かんきつが34.4%で約6割を占め、主要果樹の、日本なし8.4%、うめ5.1%を加えると全果樹の約8割となっている。また、本県オリジナルのゆこうは上勝町を中心に約21haが栽培されている。

(5) 花き

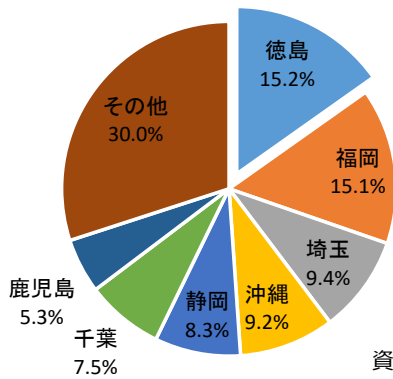


資料：徳島県「徳島の園芸 花き編」

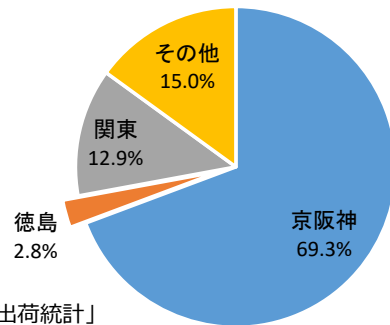
令和3年花き栽培面積は135haで、前年に比べ4ha減少した。
販売金額は、17.7億円の前年に比べ2.6億円減少した。

——洋ラン類の切花は全国で第1位の出荷量——

県産洋ラン(切り花)都道府県別出荷量割合(令2)



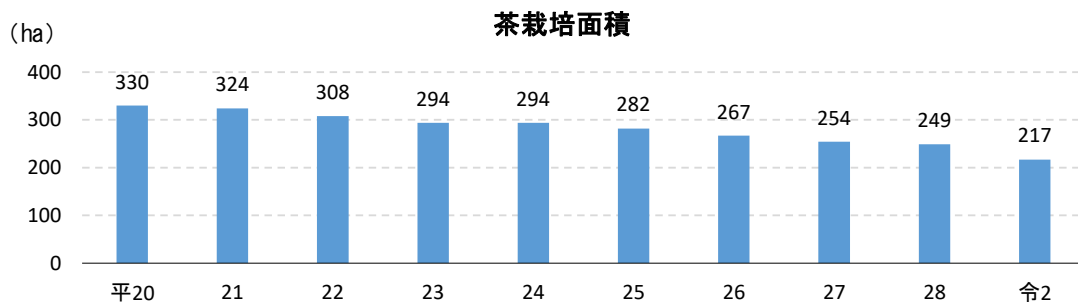
県産洋ラン(切り花)出荷先の地域別割合(令3)



資料：農林水産省「花き生産出荷統計」

徳島県「徳島の園芸 花き編」

(6) 茶



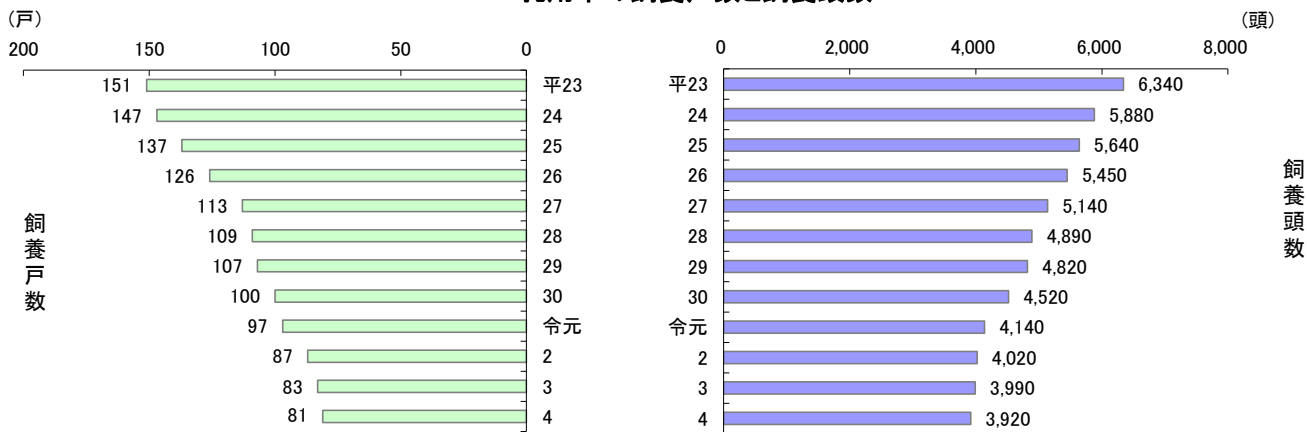
資料：農林水産省「作物統計調査」

——阿波晩茶——

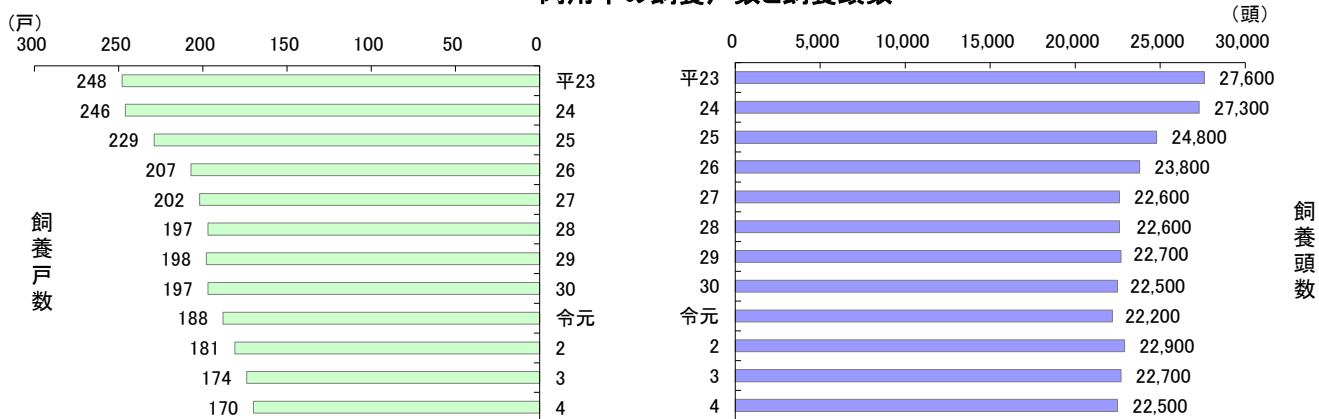
上勝町・那賀町等、本県の南西部で製造されている「阿波晩茶」は、夏に刈り取った茶葉を蒸してから桶に数週間つけこんで発酵させる発酵茶である。近年、健康ブームによって注目されている。また、「阿波晩茶の製造技術」は、平成30年8月に愛媛の「石鎚黒茶」、高知の「碁石茶」と共に「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択され、令和3年3月に「重要無形民俗文化財」に指定された。

(7) 畜産

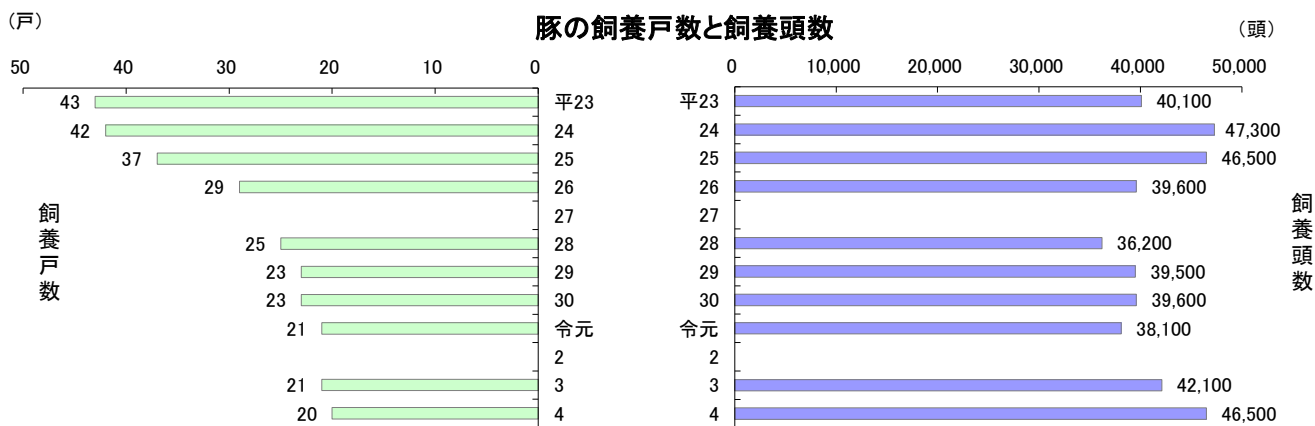
乳用牛の飼養戸数と飼養頭数



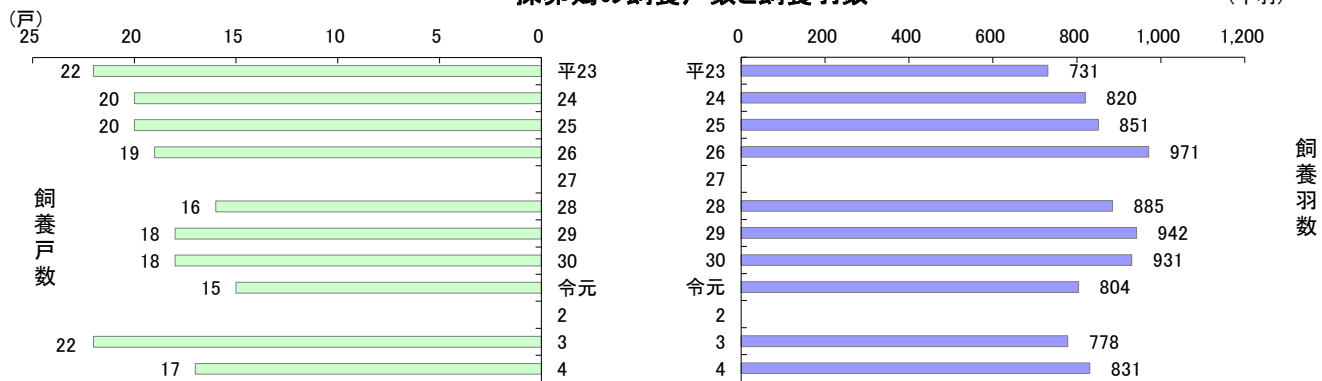
肉用牛の飼養戸数と飼養頭数



豚の飼養戸数と飼養頭数

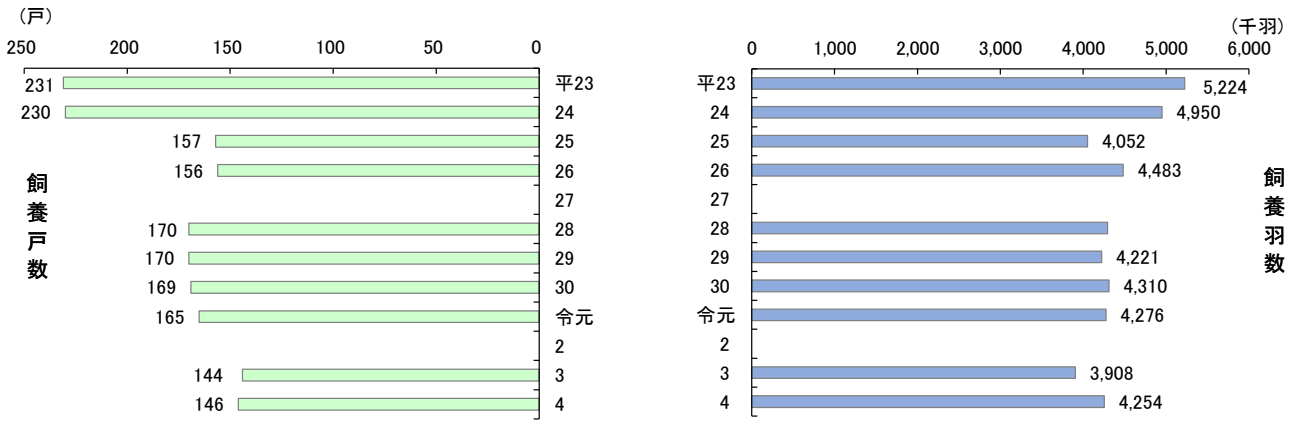


採卵鶏の飼養戸数と飼養羽数



注：平成27年、令和2年は、農林業センサスの年にあたるため、豚、採卵鶏の調査休止。

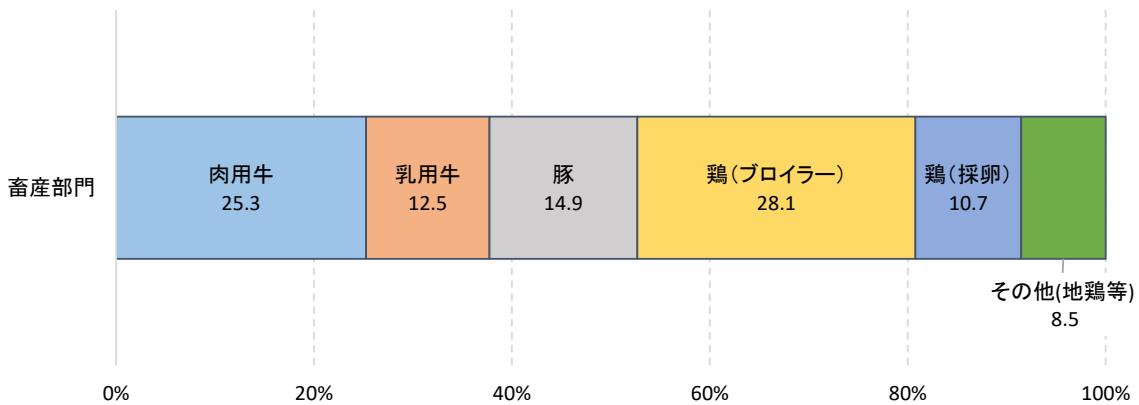
ブロイラーの飼養戸数と飼養羽数



注：平成27年、令和2年のブロイラーは調査休止。

資料：農林水産省「畜産統計」

農業算出額畜産部門構成比(令3)



資料：農林水産省「生産農業所得統計」(令3)

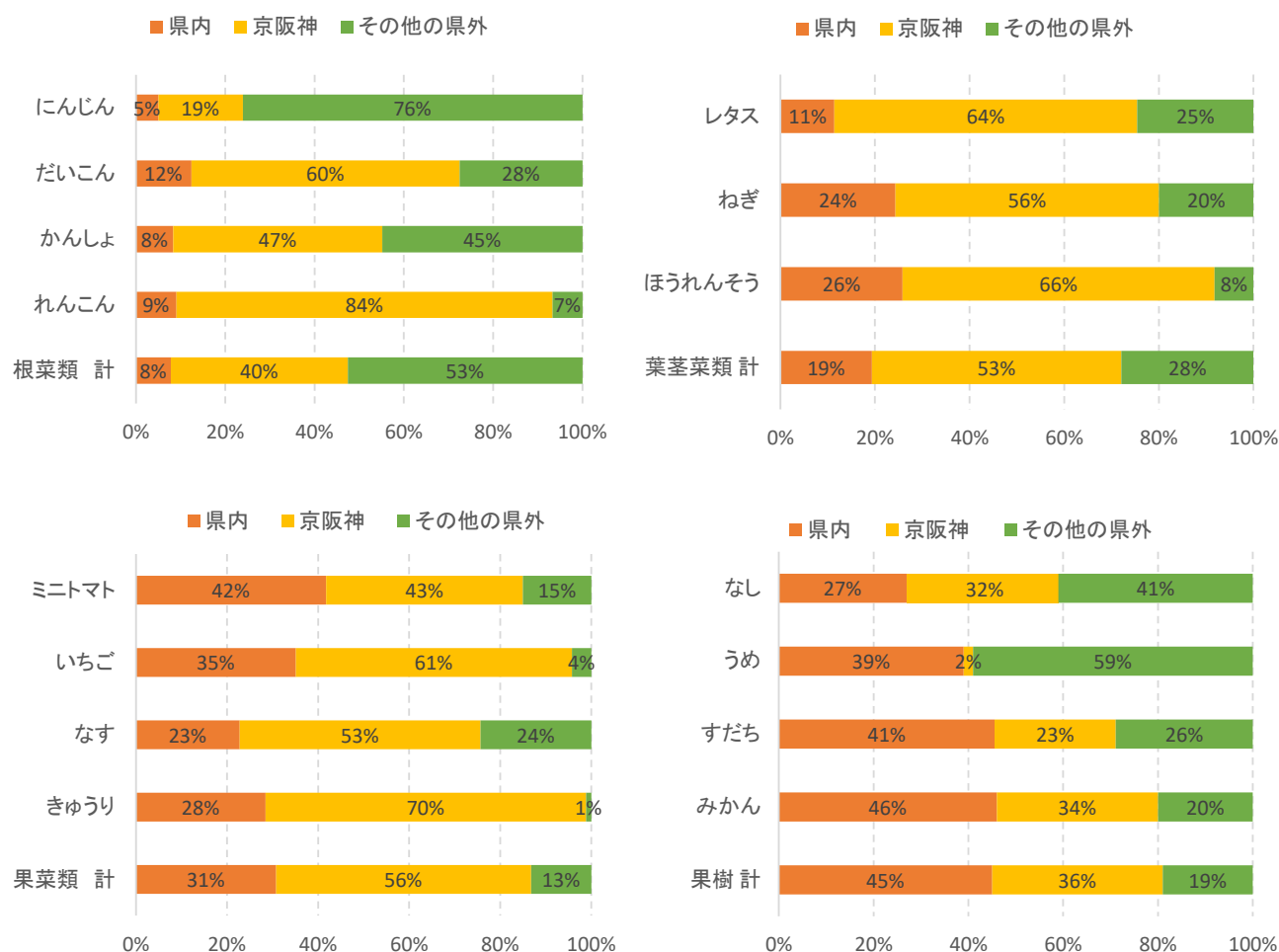
—— 高品質で安全・安心な畜産物の供給 ——

畜産業の振興を図るため、活力ある畜産経営の拡大支援や担い手を対象とした畜産物等価格安定対策、家畜改良増殖、家畜伝染病対策、家畜衛生及び処理・加工、流通施設の近代化、自給飼料の生産拡大等力強い生産供給体制の確立を推進している。とりわけ、本県が開発した地鶏「阿波尾鶏」は、全国で初めて地鶏肉の日本農林規格（JAS）格付品として流通させるとともに、全国で初めて「JGAP家畜・畜産物」認証取得を要件とした牛肉「とくしま三ツ星ビーフ」の認知度向上及び販路開拓等、安全で高品質な畜産ブランドの安定供給に努めている。

さらに、環境に配慮した農業の一環として、家畜ふん尿の適正処理及び畜産バイオマス資源の循環利用等の家畜環境対策を推進している。

3 農産物仕向先別出荷動向（野菜：令3 果樹：令3）

主な野菜・果樹の仕向先別金額割合（根菜類・葉茎菜類・果菜類・果樹）



資料：徳島県「徳島の園芸 野菜編・果樹編」

——京阪神への安定供給が続く——

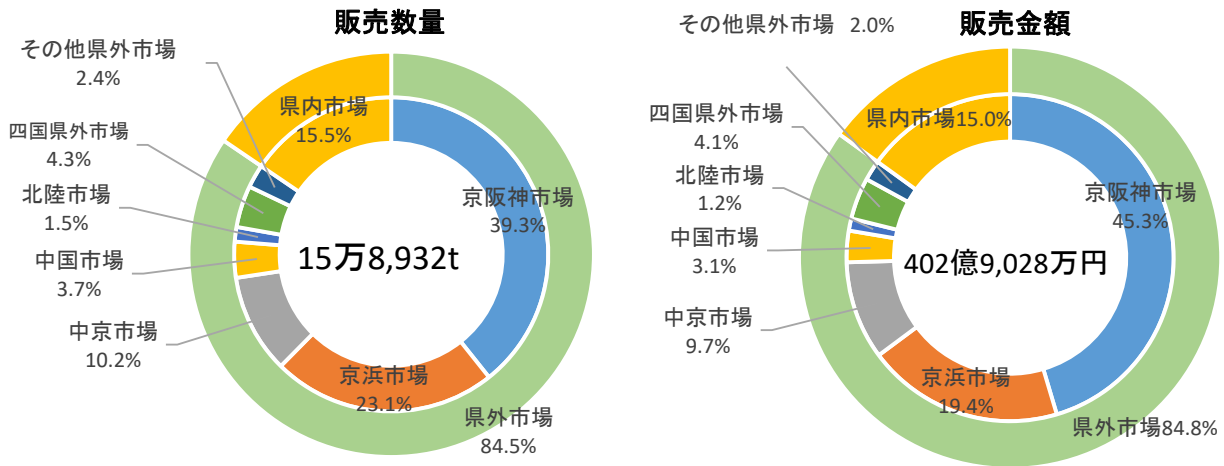
本県は恵まれた立地条件を活かしながら、多様化した消費者動向に即応して、近畿圏等への生鮮食料品の安定供給を続けている。

令和3年における徳島県産野菜の市場向け販売数量は15万8,932 tで、前年に比べ2,564 t（1.6%）減少、同販売金額は402億9028万円で、前年に比べ8億円（2.1%）減少した。このうち、京阪神市場は、販売数量で39.3%、販売金額で45.3%を占めている。

令和3年における果実販売数量は1万1,522 tで、令和2年度に比べ840 t（7%）減少、同販売金額は44億6,848万円で、令和2年に比べ1億6,282万円（4%）減少した。このうち、京阪神市場は、販売数量で34.4%、販売金額で35.9%を占めている。

4 青果物販売動向

(1) 野菜類 (令3)

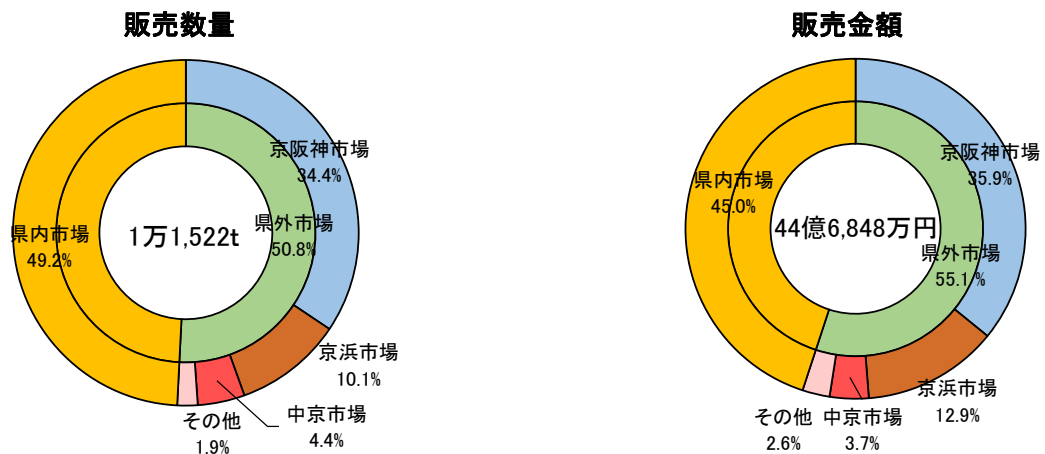


主な卸売市場における出荷数量・金額と県産シェア

区分	総量		うち徳島県産		本県産比率	
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(%)	金額(%)
京阪神主要6市場	935,564	210,188	47,340	16,507	5.1	7.9
大阪市中央市場本場	378,406	86,291	17,869	6,421	4.7	7.4
大阪市中央市場(東部市場)	114,643	21,716	5,840	2,033	5.1	9.4
大阪府中央市場	142,500	33,784	7,303	2,544	5.1	7.5
神戸市中央市場本場	76,717	17,008	4,763	1,759	6.2	10.3
神戸市中央市場(東部市場)	23,486	5,092	2,564	1,021	10.9	20.1
京都市中央市場	199,812	46,297	9,001	2,729	4.5	5.9
東京都中央市場	1,447,223	347,783	19,507	4,638	1.3	1.3
名古屋市中央市場	427,303	92,963	11,629	3,466	2.7	3.7
徳島市中央市場	49,624	11,597	25,418	6,566	51.2	56.6

資料：対象卸売市場「市場年報」（うめ、ゆず、すだち、ゆこう、ぎんなん、かぼす、きのご類を含む）

(2) 果実類 (令3)

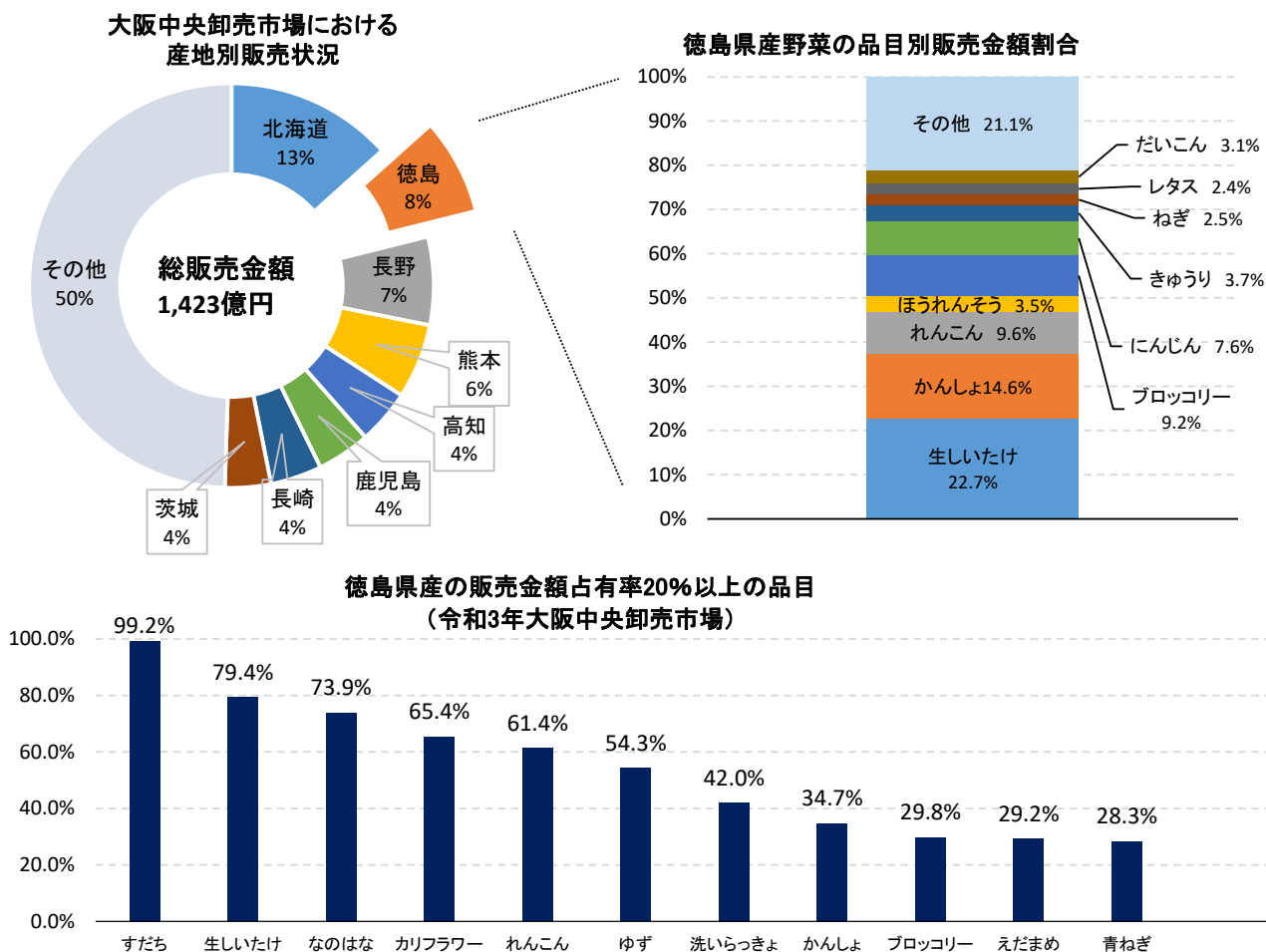


主な卸売市場における出荷数量・金額と県産シェア(R4)

区分	総量		うち徳島県産		本県産比率	
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(%)	金額(%)
東京都中央市場	389,165	191,117	534	214	0.1	0.1
大阪市中央市場本場	135,825	69,966	2,482	1,614	1.8	2.3
大阪市中央市場(東部市場)	59,308	21,923	361	204	0.6	0.9
大阪府中央市場	53,652	22,414	519	233	1.0	1.0
神戸市中央市場本場	21,871	10,108	229	63	1.0	0.6
神戸市中央市場(東部市場)	7,527	3,418	97	39	1.3	1.1
名古屋市中央卸売市場	102,867	44,529	304	96	0.3	0.2
徳島市中央市場	14,844	5,772	5,555	2,229	37.4	38.6

資料：対象卸売市場「市場年報」（いちご、すいか、メロン類を含む）

5 大阪中央卸売市場での県産野菜の位置（令和3年1月～12月）



単位：百万円

	すだち	れんこん	生しいたけ	なののはな	カリフラワー	ゆず	かんしょ	洗いらっきよ	かぶ	ブロッコリー	青ねぎ	えだまめ
販売金額占有率	99.2%	61.4%	79.4%	73.9%	65.4%	54.3%	34.7%	42.0%	19.3%	29.8%	26.7%	29.2%
第1位	都道府県・国 徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	鳥取	青森	徳島	徳島	徳島
金額	262	1,057	2,492	212	104	108	1,609	116	52	1,017	273	307
第2位	都道府県・国 高知	茨城	岐阜	和歌山	長野	高知	茨城	徳島	徳島	北海道	香川	岐阜
金額	1	317	141	38	36	65	1,261	92	47	630	258	241
第3位	都道府県・国 和歌山	佐賀	秋田	兵庫	兵庫	愛媛	千葉	高知	福岡	長野	三重	山形
金額	0	246	76	24	6	20	1,026	8	44	518	148	112

資料：大阪市中央卸売市場、大阪府中央卸売市場「市場年報」

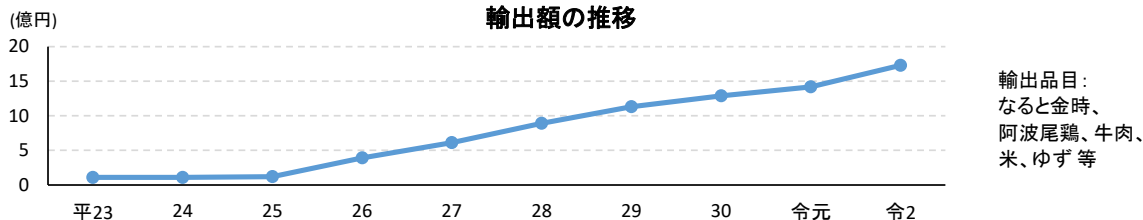
——大阪中央卸売市場で上位を占める県産野菜——

令和3年の大阪中央卸売市場における徳島県産の野菜販売金額は109億9723万円（前年比3.7%減）であり、これは市場全販売金額の7.7%を占めており、北海道に次いで第2位となっている。

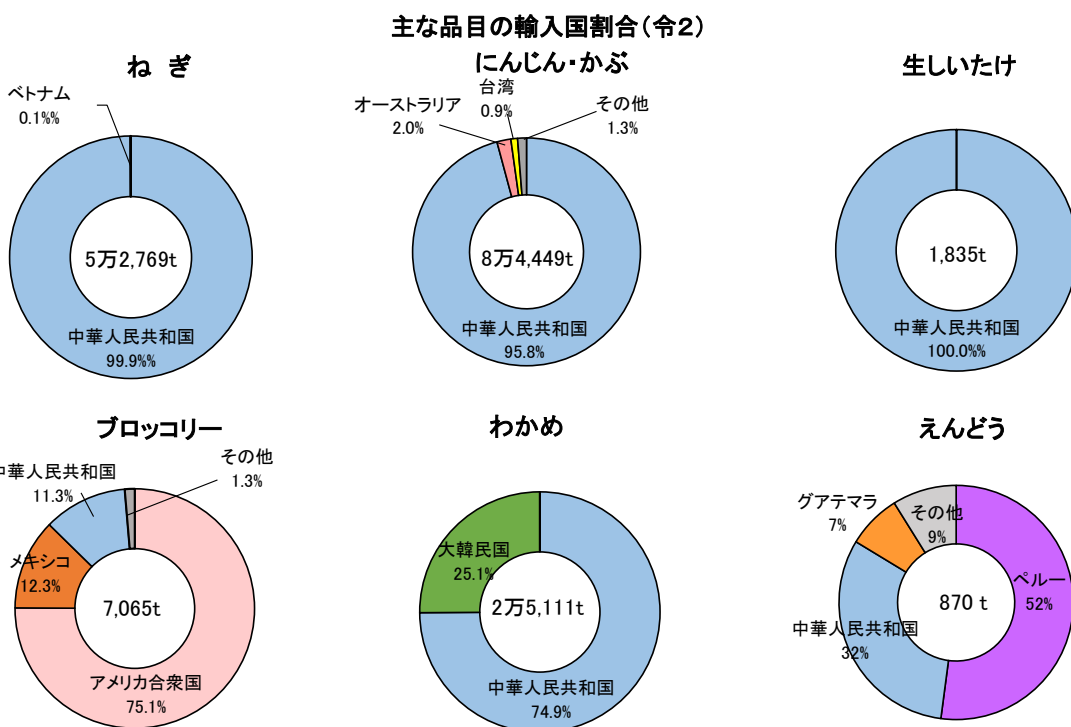
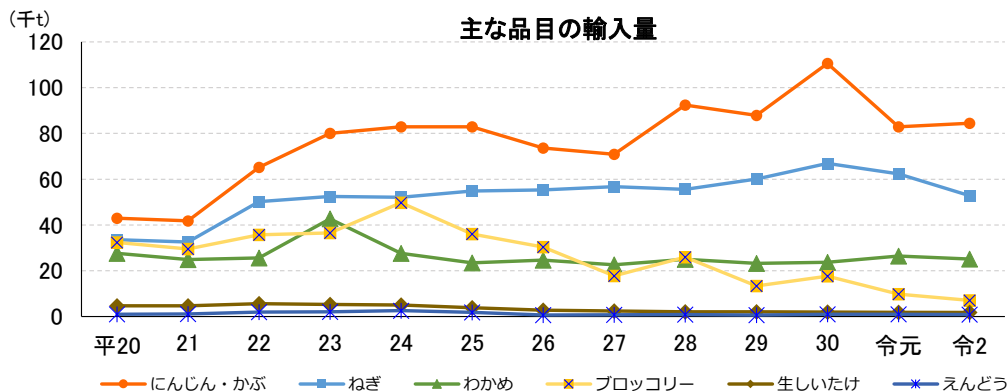
県販売金額総額に占める割合を品目別にみると、生しいたけ（22.7%）、かんしょ（14.6%）、れんこん（9.6%）、ほうれんそう（3.5%）、ブロッコリー（9.2%）、にんじん（7.6%）、きゅうり（3.7%）、ねぎ（2.5%）、レタス（2.4%）、だいこん（3.1%）と本県の特産品が上位に並んでいる。

また、販売金額占有率20%以上の品目を産地別にみると、すだち、れんこん、生しいたけ、なののはな、カリフラワー、ゆず、かんしょ、ブロッコリー、青ねぎ、えだまめの10品目で第1位であり、大阪中央卸売市場では徳島県が野菜の大きな供給地となっている。

6 主な農林水産物の輸出・輸入動向



資料：もうかるブランド推進課調べ



資料：財務省「貿易統計」

——輸出額の伸びは堅調、令和2年の輸入生鮮野菜は減少——

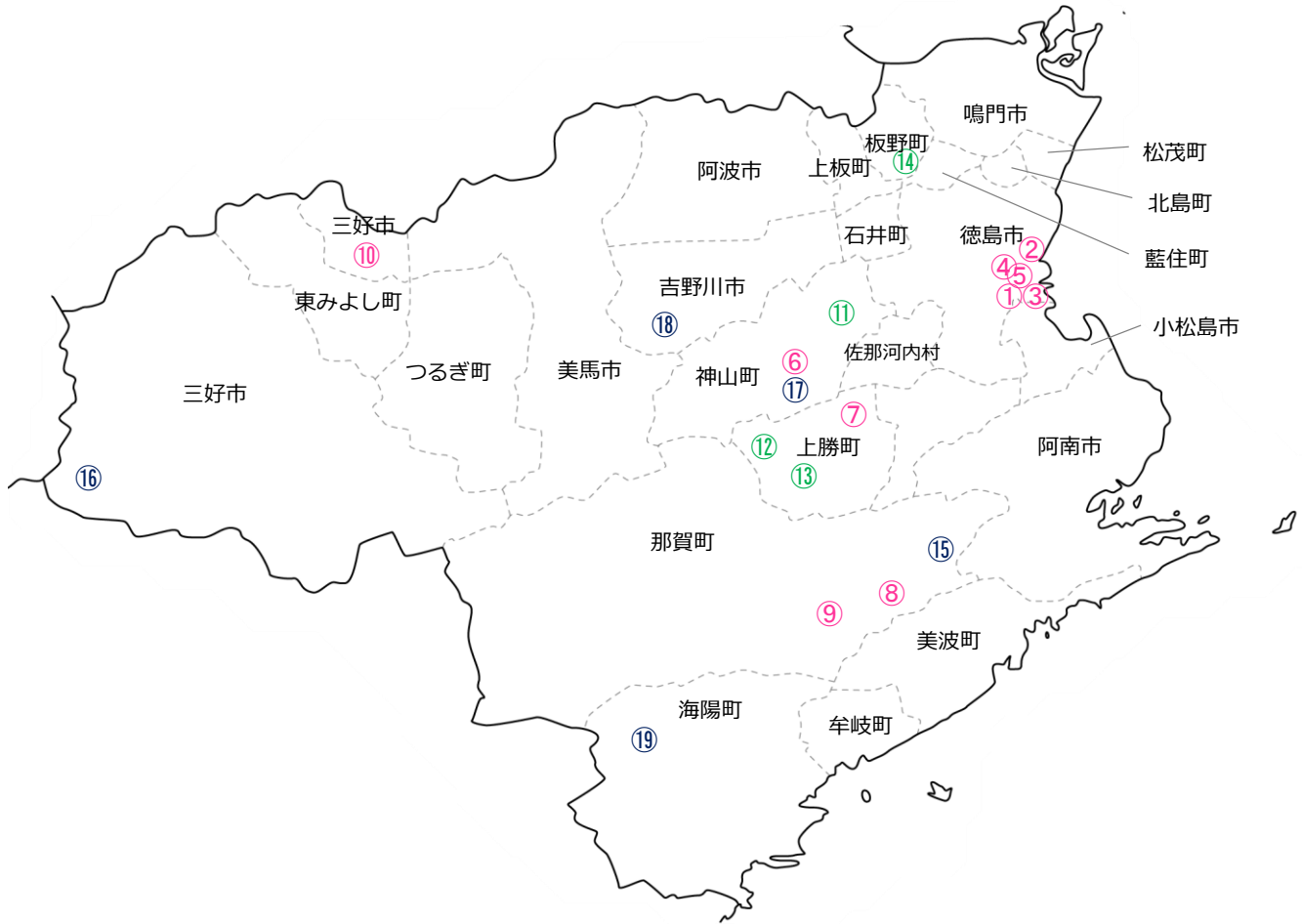
本県の主な農林水産物の令和2年度輸出実績は、約17.3億円にのぼり、調査を開始した平成23年度の約1.1億円に比べ15倍以上となっている。

また、我が国へ令和2年に輸入された野菜（生鮮・冷蔵）は66万7,001 tで、前年に比べ10万4,077 t（前年比13.5%）減となった。主な輸入先は中国（67.5%）、メキシコ（6.0%）、大韓民国（5.7%）であり、この上位3か国でおよそ8割を占めている。

一方、冷凍野菜の輸入量は103万3,989 tで、前年に比べ5万7,260 t（前年比5.2%）減少している。

Ⅲ 林 業

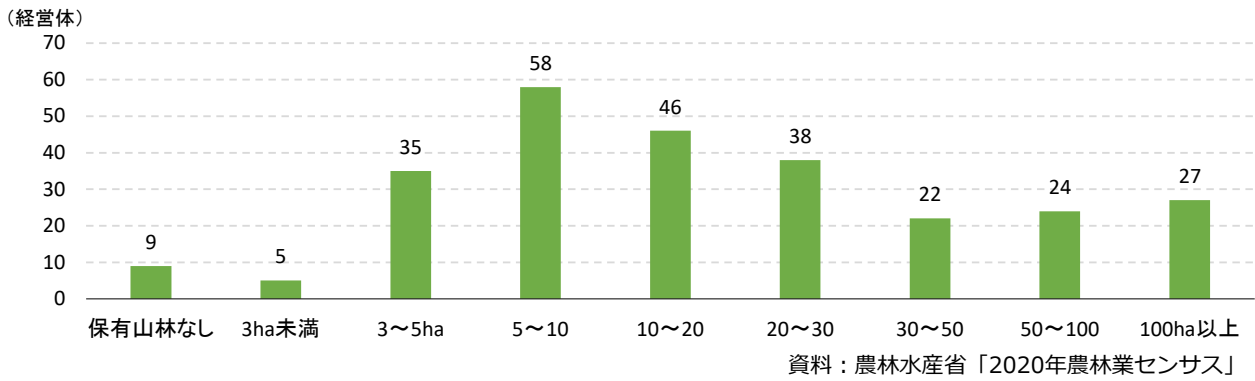
1 徳島県の主な林業施設等の設置状況 (令和5年3月現在)



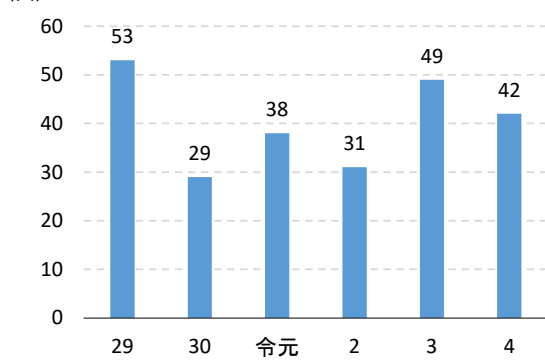
木材市場		森林総合利用施設	
1	徳島 東部 徳島県木材センター(協)	11	徳島 東部 神山森林公園 イルローザの森
2	徳島 東部 大一木材(株)	12	徳島 東部 高丸山千年の森
3	徳島 東部 (株)徳島中央木材市場	13	徳島 東部 高丸山千年の森ふれあい館
4	徳島 東部 丸幸産業(株)	14	徳島 東部 徳島木のおもちゃ美術館
5	徳島 東部 (株)ゲンボク	その他の施設等	
6	徳島 東部 徳島中央森林組合神山共販所	15	阿南・那賀 フォレストキャンパス 那賀
7	徳島 東部 徳島中央森林組合勝浦郡木材センター	16	三 好 フォレストキャンパス 三好
8	阿南・那賀 木頭森林組合相生木材センター	17	神 山 フォレストキャンパス 徳島
9	阿南・那賀 木頭森林組合共販所横石木材センター	18	吉野川 フォレストキャンパス 吉野川
10	三 好 (株)三好木材センター	19	美 波 フォレストキャンパス 美波

2 林業経営体数及び森林面積

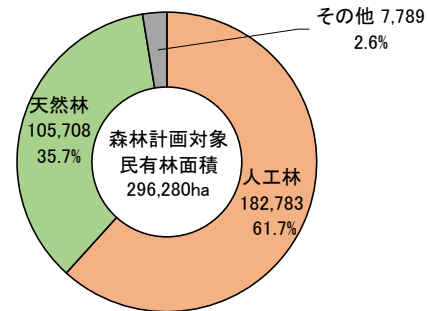
(1) 保有山林面積規模別林業経営体数(令2)



(2) 新規林業就業者数の推移

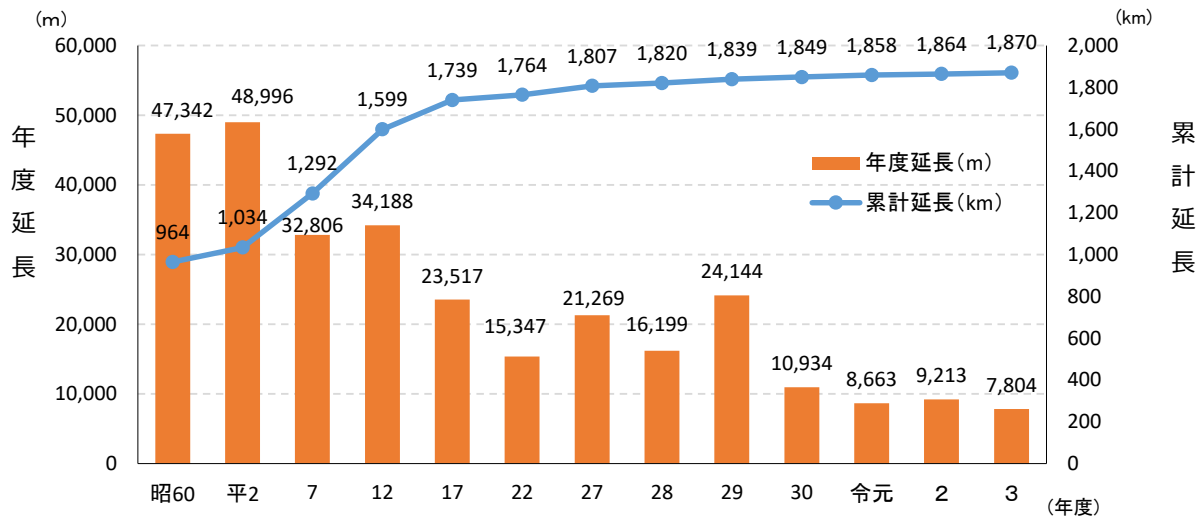


(2) 森林面積の構成比(計画対象民有林)(令3)



資料：徳島県「令和4年度みどりの要覧」

(3) 林道開設延長の推移



資料：徳島県「令和4年度みどりの要覧」

—— 民有林が中心の森林資源 ——

2020年農林業センサスにおける本県の林業経営体数(※)は264経営体である。

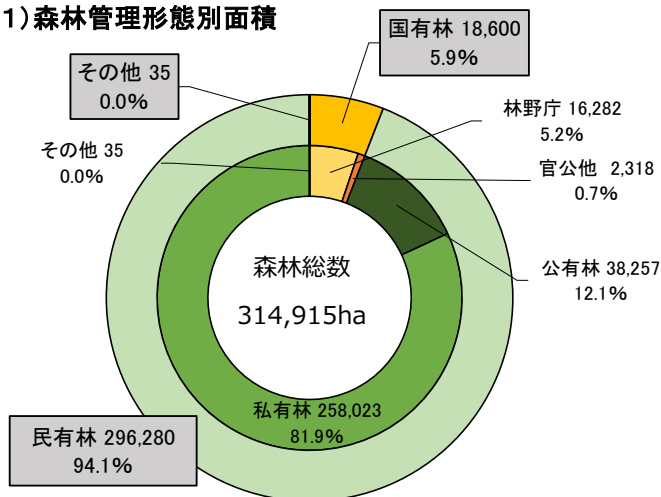
保有山林規模別にみると、林業経営体数の81.4%を5ha以上が占めている。

令和4年度末の民有林の森林計画対象面積は29万6,280haで、うち人工林が18万2,783ha、天然林が10万5,708haで、人工林率は約61.7%となっている。

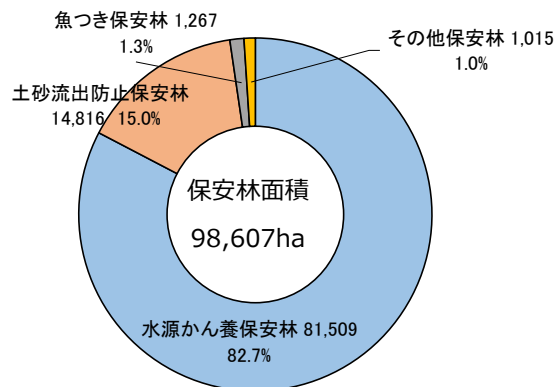
※ 「林業経営体」とは、「保有山林面積が3ha以上かつ過去5年間に林業作業を行うか森林経営計画を作成している」、「委託を受けて育林を行っている」又は「委託や立木の購入に過去1年間に200m以上の素材生産を行っている」のいずれかに該当する者

3 森林資源（令3）

(1) 森林管理形態別面積

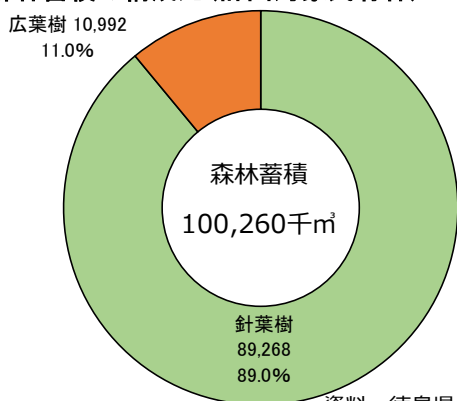


(2) 保安林面積の現況(民有林)

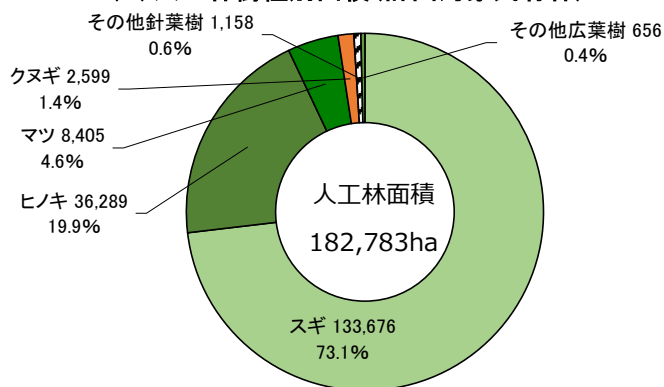


資料：徳島県「令和4年度みどりの要覧」

(3) 森林蓄積の構成比(計画対象民有林)

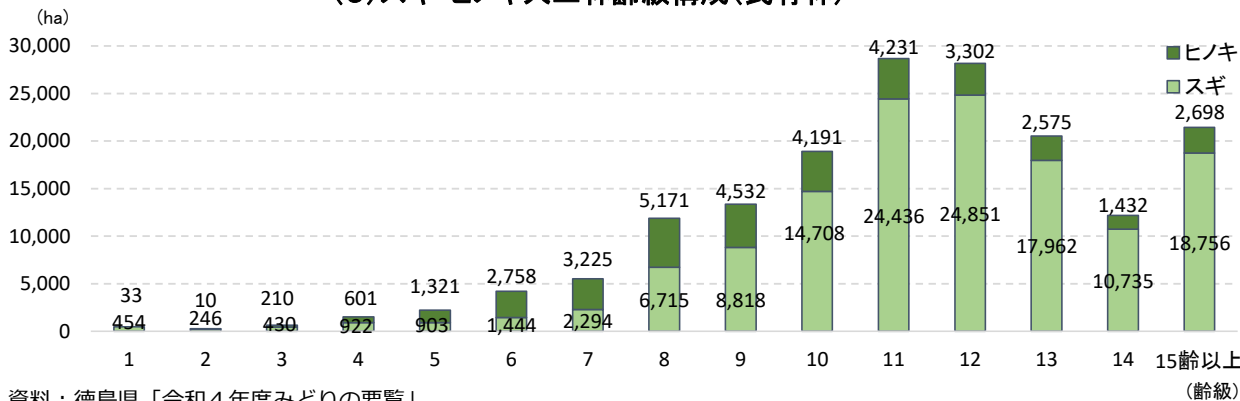


(4) 人工林樹種別面積(計画対象民有林)



資料：徳島県「令和4年度みどりの要覧」

(5) スギ・ヒノキ人工林年齢構成(民有林)



資料：徳島県「令和4年度みどりの要覧」

——公益的機能の発揮と地球温暖化防止森林吸収源対策に向けて——

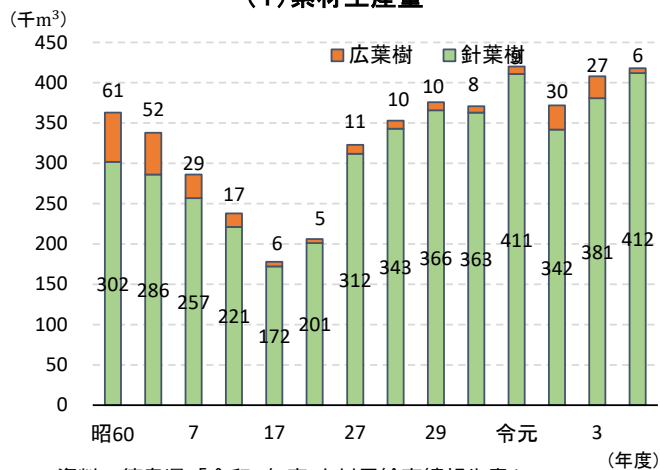
令和3年度末の森林面積は31万4,915haで県土の76%を森林が占めており、そのうち民有林面積は296,280haである。

本県の森林の94%占める民有林は、スギ・ヒノキなどの人工林が62%を占めており、そのうち10歳級以上(46年生～)の利用期を迎えた森林が76.4%を占めている。

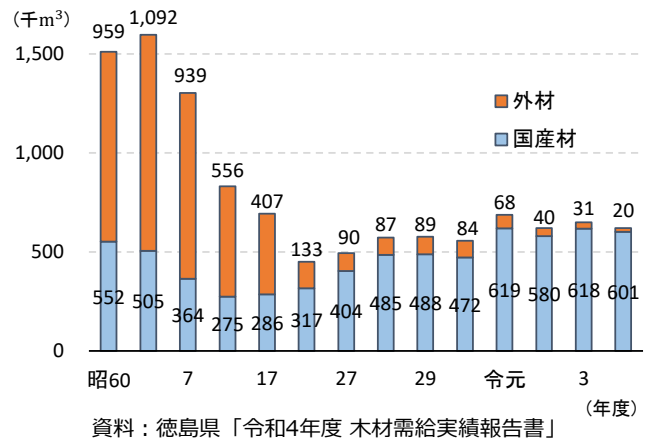
この森林を「水源かん養機能」、「山地災害防止・土壌保全機能」、「快適環境形成機能」、「保健文化機能」、「木材等生産機能」の5つの機能維持増進森林に区分し、間伐対策の推進や複層林の導入、林道等路網の整備、治山施設の効率的設置等に取り組むとともに、「徳島県豊かな森林を守る条例」に基づく森林づくりの推進と適正な保安全管理を推進することにより各種機能が発揮される健全な森林づくりを進めている。

4 林業生産

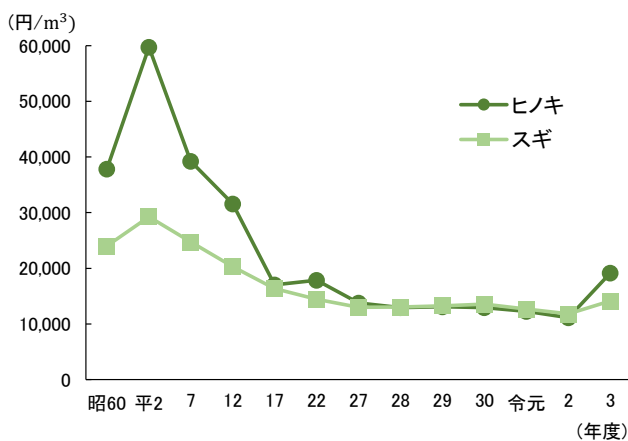
(1) 素材生産量



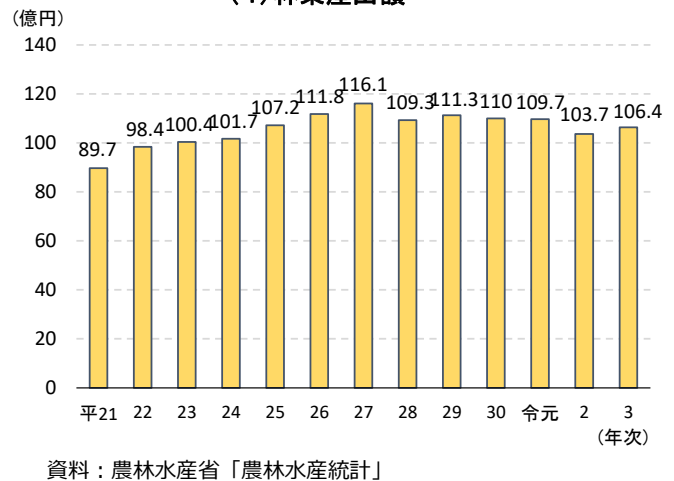
(2) 素材需要量



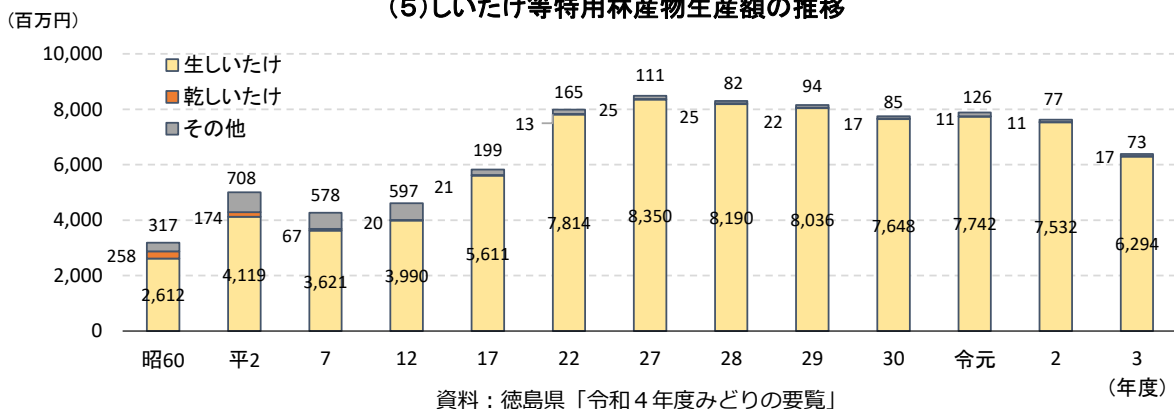
(3) 県内木材価格の推移



(4) 林業産出額



(5) しいたけ等特用林産物生産額の推移



—— 県産材の生産拡大と木材産業の体質強化を目指す ——

林業や木材産業の振興はもとより、山村の活性化や森林の適正な整備につながる県産木材の需要拡大を図るため、「徳島県県産材利用促進条例」に基づき県産木材の良さと利用を普及啓発するとともに、県産木造住宅の普及、公共施設や土木工事での使用を積極的に進めている。

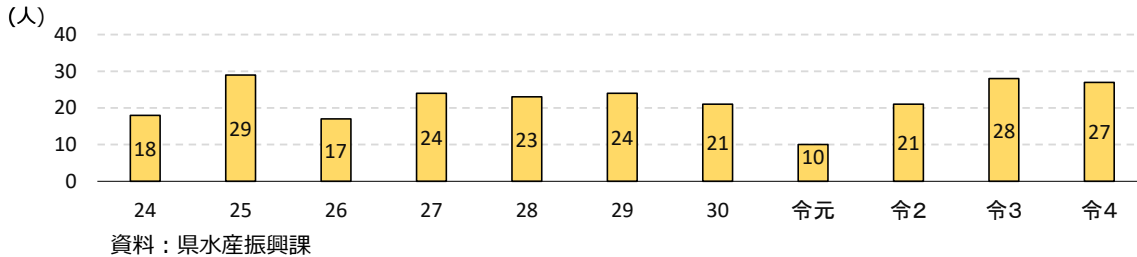
新型コロナウイルス感染症に加え、ウクライナ危機の影響により、令和4年度の素材生産量は約418千m³と前年に比べ約10千m³増加するも、素材需要量は約621千m³と前年に比べ約28千m³減少した。

しいたけ等特用林産物の生産額は約63億円で、前年に比べ約12億減少したが、生しいたけの生産量は18年連続全国第一位である。

Ⅳ 水 産 業

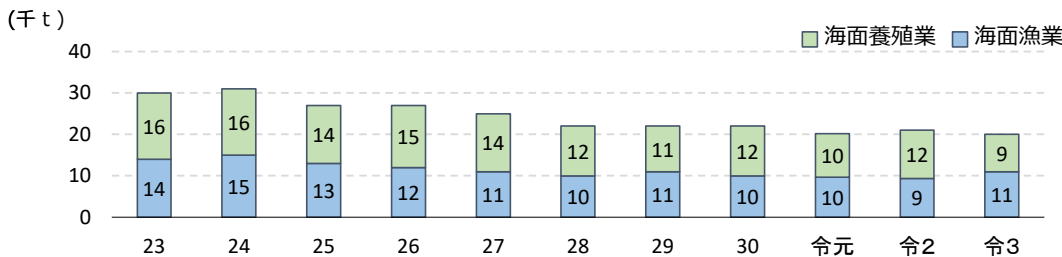
漁場環境・資源状況の悪化など水産業を取り巻く状況が変化中、本県の豊かな自然環境を活かした強い水産業を育成するため、①漁家経営の安定と担い手の育成と確保、②漁業団体の育成・強化、③漁港・海岸と漁場の整備、④適切な資源の管理と利用、⑤海面養殖業の振興、⑥内水面漁業・養殖業の振興、⑦水産物流通・加工体制の充実、⑧漁場環境の監視と保全、⑨効率的な漁場利用の推進を主要施策として各種事業に取り組んでいる。

新規漁業就業者数の推移



1 海面漁業

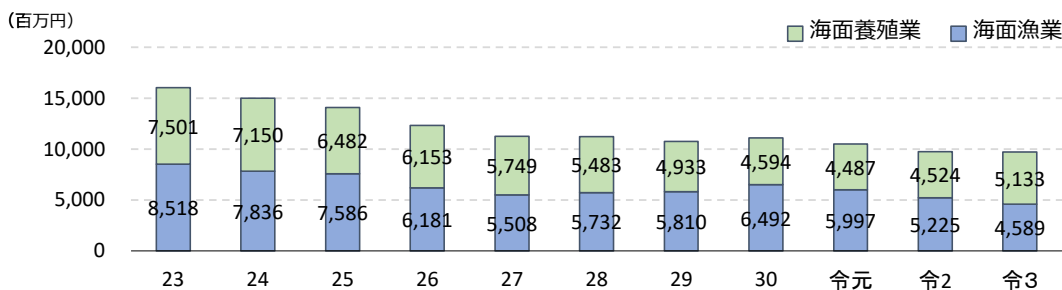
(1) 徳島県における海面漁業・養殖業生産量の推移



令和3年の海面漁業・養殖業生産量は、2万352tで前年に比べ645 t (3.1%)の減少となった。

内訳をみると、海面漁業の漁獲量が1,603 t (17.1%)増加し、海面養殖業の収穫量が2,248 t (19.3%)減少となった。

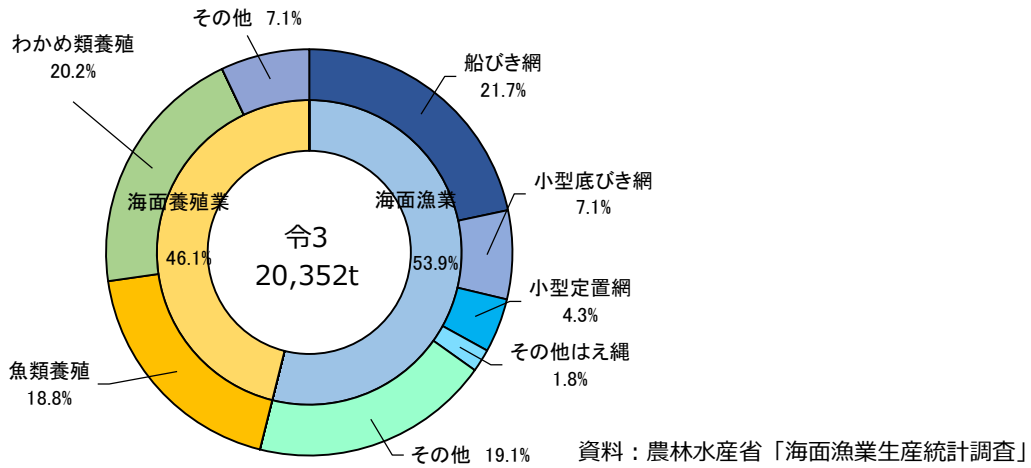
(2) 徳島県における海面漁業・養殖業産出額の推移



令和3年の海面漁業・養殖業産出額は97億2,200万円で、前年に比べ減少となった。

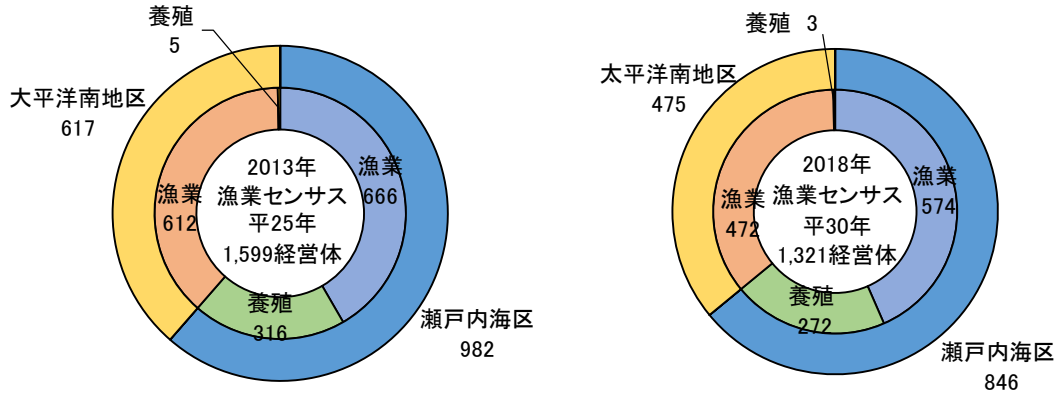
内訳をみると、海面漁業が45億8,900万円、海面養殖業は51億3,300万円となっている。

(3) 海面漁業・養殖業の漁業種類別漁獲量及び収穫量割合

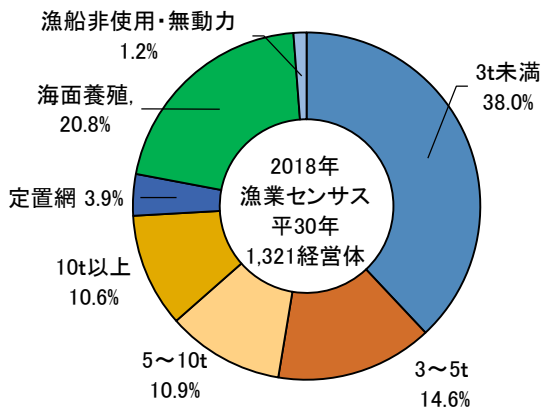


2 海面漁業の生産構造

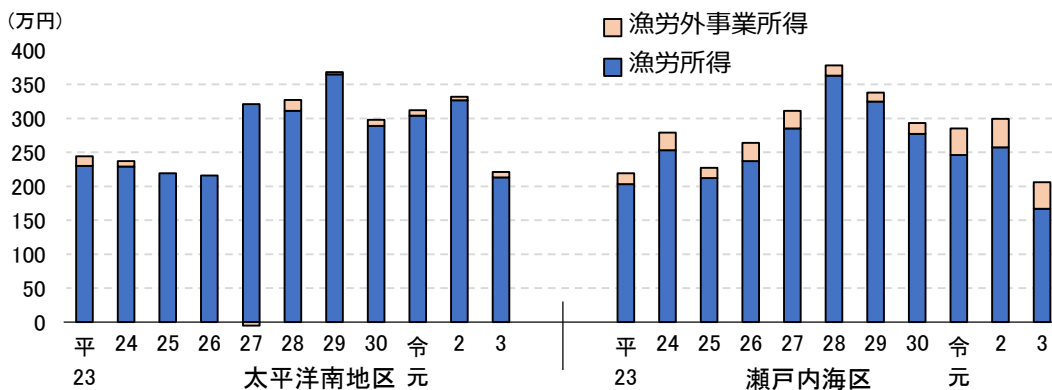
(1) 海区域別経営体数



(2) 経営体別階層別経営体数の構成割合

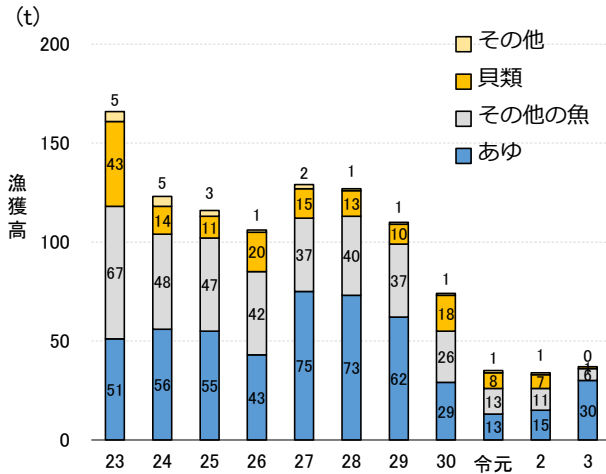


(3) 経営体総所得



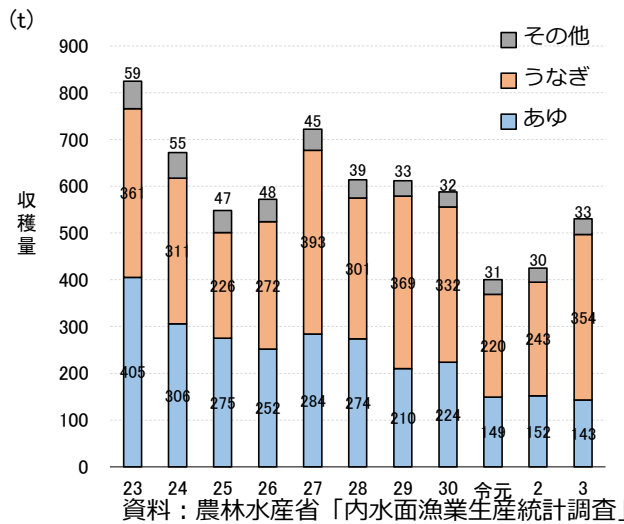
3 内水面漁業の生産量

(1)内水面漁業魚種別漁獲量



資料：農林水産省「内水面漁業生産統計調査」

(2)内水面養殖業魚種別収穫量



資料：農林水産省「内水面漁業生産統計調査」

——うなぎの養殖は全国第6位——

令和3年の販売を目的とした内水面漁業の漁獲量は38tとなった。魚種別にみると、あゆの漁獲量が30t、その他の魚の漁獲量が6tとなっている。また、令和3年の内水面養殖業の収穫量は530tで、前年に比べ104t（24.4%）増加した。これを養殖種類別にみると、うなぎ養殖の収穫量が111t（45.7%）増加し、あゆ養殖の収穫量は9t（5.9%）減少となっている。生産量ではうなぎ及びあゆが全国第6位と上位になっている。

4 全国から見た徳島の漁業

令和3年における主要魚種別漁獲量・収穫量と全国順位

順位	第3位	第4位	第6位	第6位
種類	わかめ類（養殖）	いせえび	うなぎ（養殖）	あゆ（養殖）
徳島県（t）	4,112	105	354	143
全国（t）	43,972	1,063	20,673	3,909
順位	第9位	第9位	第9位	第11位
種類	あわび類	ぶり類（養殖）	しらす	たちうお
徳島県（t）	21	3,454	2,894	210
全国（t）	658	99,804	68,682	7,190

——わかめ類の養殖は全国第3位——

令和3年における主要魚種別漁獲量・収穫量と全国順位をみると、養殖わかめの収穫量が4,112tであり、宮城県、岩手県に続き全国第3位となっている。また、いせえびが105tで全国第4位。養殖うなぎが354t、養殖あゆが143tでそれぞれ全国第6位。あわび類が21t、養殖ぶりが3,454t、しらすが2,894tでそれぞれ全国第9位。たちうおが210tで全国第11位となっている。

V 統計表

1 産業別概要

(1) 産業別就業者数

単位：人

年次	総数	第1次産業				第2次産業	第3次産業	分類不能の産業
		計	農業	林業	漁業			
平 12	390,509	40,352	35,487	846	4,019	112,939	232,078	5,140
17	373,825	36,475	32,600	604	3,271	95,211	235,209	6,930
22	347,093	29,377	25,876	837	2,664	81,147	223,375	13,194
27	342,906	28,086	24,954	822	2,310	80,079	223,895	10,846
令 2	328,286	24,448	21,790	761	1,897	74,530	220,298	9,010

資料：総務省統計局「国勢調査」

(2) 経済活動別県内総生産

単位：億円

年次	県内総生産	第1次産業				第2次産業	第3次産業	輸入税	総資本形成に係る消費税(控除)
		計	農業	林業	水産業				
平 24	28,683	650	510	62	79	9,137	18,713	330	148
25	29,781	596	459	66	71	9,838	19,105	377	134
26	30,458	563	428	70	65	10,231	19,379	515	229
27	30,837	605	467	74	64	10,076	19,863	509	215
令 元	32,224	570	439	73	59	10,919	20,592	558	415
2	31,852	553	430	71	52	11,463	19,711	564	438

注：県民活動別総生産については、四捨五入していることから合計と内訳が一致しない場合がある。

資料：徳島県「令和2年度徳島県県民経済計算」

2 農 業

(1) 農業経営体数(経営耕地面積規模別経営体数)

単位：経営体

年次	農業経営体	家族経営	0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~3.0	3.0ha以上
			平 27	18,513	18,272	6,281	9,075	3,620
令 2	14,568	—	4,102	5,594	2,326	1,056	785	705

資料：農林水産省「2015年農林業センサス」「2020年農林業センサス」

(2) 自営農業従事日数別農業従事者数(過去1年間に農業に1日以上従事した世帯員数)

単位：人

年次	男女計	男							女						
		小計	1~29日	30~59	60~99	100~199	150~199	200日以上	小計	1~29日	30~59	60~99	100~149	150~199	20
平 27	44,659	23,953	5,340	3,646	2,629	2,497	1,999	7,842	20,706	5,656	3,087	2,090	2,056	1,672	6,145
令 2	38,797	18,091	3,929	2,261	1,909	1,678	1,543	6,771	20,706	4,481	1,723	1,401	1,316	1,164	4,921

資料：農林水産省「2015年農林業センサス」「2020年農林業センサス」

(3) 基幹的農業従事者数(ふだん仕事として自営農業に従事した世帯員数)

単位：人

年次	男女計	男							女						
		小計	15~29歳	30~39	40~49	50~59	60~64	65歳以上	小計	15~29歳	30~39	40~49	50~59	60~64	65
平 27	22,122	12,209	208	615	696	1,279	1,822	7,589	9,913	59	237	516	1,359	1,630	6,112
令 2	19,186	11,012	115	454	685	784	1,040	7,934	8,174	28	167	412	731	991	5,845

資料：農林水産省「2015年農林業センサス」「2020年農林業センサス」

(4) 耕地種類別面積及び耕地利用率

単位：ha, %

年次	合計	田		畑			耕地利用率
		小計	小計	普通畑	樹園地	牧草地	
24	30,800	20,600	10,200	5,740	4,320	115	90.3
25	30,600	20,500	10,100	5,690	4,270	113	89.9
26	30,400	20,400	9,970	5,660	4,200	105	89.8
27	30,100	20,300	9,810	5,640	4,060	105	89
28	29,500	19,900	9,630	5,600	3,920	103	88.5
29	29,300	19,700	9,530	5,550	3,870	103	87.4
30	29,000	19,600	9,380	5,480	3,790	103	86.9
令元	28,800	19,500	9,270	5,430	3,730	103	85.8
2	28,500	19,400	9,100	5,370	3,630	103	84.9
3	28,310	19,400	8,910	5,290	3,520	103	85.9

資料：農林水産省「作物統計調査」

(5) 荒廃農地

単位：ha

年次	荒廃農地面積計		再生利用が可能な荒廃農地		再生利用が困難と見込まれる荒廃農地		再生利用された面積	
	農用地区域	農用地区域	農用地区域	農用地区域	農用地区域	農用地区域	農用地区域	農用地区域
平 24	2,339	1,504	1,283	922	1,055	582	122	77
25	2,349	1,520	1,442	990	908	530	98	65
26	2,662	1,792	1,374	984	1,288	808	38	21
27	2,711	1,653	976	626	1,735	1,027	78	53
28	2,945	1,915	1,175	863	1,769	1,052	141	91
29	2,849	1,780	1,127	796	1,722	984	111	71
30	2,857	1,678	1,162	815	1,695	863	82	54
令元	2,948	1,729	1,192	829	1,756	900	56	36
2	3,034	1,801	1,261	894	1,774	907	51	35
3	3,109	1,892	1,456	1,013	1,653	879	105	50

資料：農林水産省「都道府県別の荒廃農地面積の発生状況」

(6) 農業産出額及び生産農業所得

単位：億円

年次	農業産出額	耕種						畜産	加工農産物	生産農業所得
		計	米	いも類	野菜	果実	花き			
平 22	1,002	729	121	72	366	111	38	272	1	300
23	1,004	738	136	76	352	115	39	265	1	272
24	1,054	787	152	73	378	123	43	267	1	301
25	984	728	128	71	368	103	40	256	1	283
26	953	685	98	77	348	106	39	268	1	257
27	1,037	737	106	85	384	110	37	300	1	327
28	1,101	825	132	84	448	109	35	276	0	388
29	1,037	768	137	71	410	103	30	268	0	365
30	981	716	134	65	371	93	37	265	0	339
令元	961	698	133	75	349	88	36	263	0	339
2	955	700	123	82	352	95	33	255	0	334
3	930	649	91	85	343	81	33	281	1	329

注：農業産出額の内訳は、主要品目のみ掲載。

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

単位 { 作付面積：ha
10a当たり収量：kg
収穫量：t

(7) 水稻・麦類作付面積・収穫量

年産	水 稻			小 麦			二条大麦			裸 麦		
	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量
22	13,500	471	63,600	×	215	×	×	294	×	27	82	22
23	13,200	463	61,100	79	295	233	13	385	50	30	187	56
24	13,200	477	63,000	75	287	215	17	338	57	37	177	65
25	13,400	487	63,500	×	277	×	×	331	×	41	217	89
26	13,200	452	59,700	66	292	193	17	362	62	49	203	99
27	11,900	457	54,400	60	296	178	20	258	52	52	178	93
28	11,700	490	57,300	64	236	151	23	178	41	58	69	40
29	11,500	480	55,200	66	300	198	25	280	70	51	206	105
30	11,400	470	53,600	56	230	129	22	223	49	60	137	82
令元	11,300	464	52,400	42	307	129	12	533	64	66	188	124
2	11,000	476	52,400	53	302	160	13	515	67	50	251	126
3	10,300	465	47,900	54	361	195	45	210	95	32	100	32
4	9,910	480	47,600	73	321	234	38	276	105	19	168	32

資料：農林水産省「作物統計調査」

× 非公表

(8) 野菜作付面積

単位：ha

年産	野菜計	だいこん	にんじん	れんこん	かんしょ	たけのこ	きゅうり	トマト	なす	
									うちミニトマト	
平 23	8,420	447	1,010	538	1,150	...	74	83	24	113
24	8,180	415	1,020	527	1,150	...	73	78	24	113
25	8,060	401	1,030	529	1,140	...	72	79	26	110
26	8,000	389	1,030	527	1,130	...	70	79	27	108
27	8,050	389	1,020	527	1,130	...	70	85	28	103
28	7,580	377	998	530	1,120	...	67	86	28	99
29	7,389	357	978	527	1,100	...	69	85	27	96
30	7,134	353	983	527	1,090	...	69	83	27	92
令元	7,110	355	981	527	1,090	...	68	83	27	91
2	7,055	355	981	526	1,090	...	68	83	25	91
3	6,995	345	937	520	1,090	...	63	84	26	91

年産	しろとり	いちご	キャベツ	ほうれんそ う	レタス	アスパラ	ねぎ	さやいんげ ん	さやえんどう	えだまめ	スイートコ ーン
24	27	...	169	650	390	539	200	...	103	235	228
25	...	90	174	630	389	580	212	50	88	232	220
26	23	...	172	600	381	653	212	...	76	234	200
27	172	587	382	722	220	...	72	233	202
28	20	77	167	572	349	725	225	46	71	225	201
29	...	76	161	538	307	768	225	...	72	226	215
30	24	...	140	421	297	876	222	...	56	238	199
令元	...	73	139	408	291	940	224	41	59	250	205
2	30	...	136	388	276	955	220	...	50	246	212
3	144	374	277	974	253	...	48	245	207

注：野菜計は作付延べ面積に、いも類のかんしょを含む。

資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」「地域特産野菜の生産状況」「特用林業基礎資料」

(9) 果樹栽培面積・収穫量

単位 { 栽培面積：ha
収穫量：t

年産	果樹 栽培 面積	みかん		はっさく		ゆず		すだち		ぶどう		日本なし	
		栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量
平 25	3,080	910	13,900	82	766	367	4,025	432	5,776	90	-	237	6,370
26	3,020	906	13,700	80	703	367	3,303	433	5,355	88	708	234	5,180
27	2,900	878	13,400	71	480	340	3,453	405	5,374	81	-	229	4,330
28	2,708	825	12,900	68.7	963	348.2	3,601	397.4	4,628	78.7	-	218	5,250
29	2,204	808	12,000	66	1,013	343	2,374	390	4,063	58	-	218	4,930
30	2,137	774	12,700	64	983	314.2	2,281	386	4,213	57	380	213	5,030
令元	2,077	744	11,800	64	838	338	2,574	382	4,156	64	833	210	4,450
2	2,423	706	13,300	63	826	331	2,951	389	3,772	62	720.9	203	4,060
3	1,891	656	9,180	-	-	-	-	-	-	-	-	200	4,360

みかん、日本なし、うめの栽培面積は平成28年から結果樹面積

- 非公表

年産	うめ		かき		くり	
	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量
25	225	793	251	-	140	-
26	200	700	248	3,060	128	84
27	175	477	239	-	110	-
28	141	302	234	-	104	-
29	135	440	180.5	-	104	-
30	132	436	180	-	92	-
令元	130	407	165	-	70	-
2	123	367	155	-	72.4	-
3	118	395	-	-	-	-

資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」

すだち・ゆず・はっさくは「特産果樹生産動態等調査」（徳島県調べ）

平成29年以降のぶどう・かき・くりは「特産果樹生産動態等調査」（徳島県調べ）

平成29年から一部品目調査に変更、令和2年は全品目調査

(10)花き

単位：ha

単位：百万円

年産	栽培面積					販売額				
	計	切花	枝物	鉢物	花壇用苗	計	切花	枝物	鉢物	花壇用苗
平 23	263	124	116	21	2	4,326	2,584	243	1,391	107
24	249	115	112	19	3	3,850	2,275	267	1,190	117
25	230	106	104	17	2	3,856	2,215	261	1,274	106
26	221	112	97	12	0	3,565	2,421	226	911	8
27	213	108	93	12	0	3,521	2,384	217	911	8
28	192	90	86	16	0	3,172	2,798	234	860	12
29	177	81	80	15	1	2,977	1,804	275	889	10
30	149	72	68	8	1	2,576	1,492	200	875	9
令 元	145	68	68	8	0	2,479	1,351	166	955	8
2	139	65	67	7	0	2,034	1,283	148	601	8
3	135	63	65	7	0	1,776	1,107	156	496	8

注：ラウンドのため計と内訳が一致しない場合がある。

資料：徳島県「徳島の園芸 花き編」

(11) 茶

年産	茶	
	栽培面積 (ha)	生葉収穫量 (t)
平 23	294	...
24	294	...
25	282	...
26	267	721
27	254	...
28	249	...
29
30
令 元
2	217	580
3

資料：農林水産省「作物統計調査」

(12)畜産
 単位 {

- 戸数：戸
- 頭数：頭
- 羽数：1,000羽

年次	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養羽数
平 23	151	6,340	248	27,600	43	40,100	22	731
24	147	5,880	246	27,300	42	47,300	20	820	230	4,950
25	137	5,640	229	24,800	37	46,500	20	851	157	4,052
26	126	5,450	207	23,800	29	39,600	19	971	156	4,483
27	113	5,140	202	22,600
28	109	4,890	197	22,600	25	36,200	16	885	170	4,294
29	107	4,820	198	22,700	23	39,500	18	942	170	4,221
30	100	4,520	197	22,500	23	39,600	18	931	169	4,310
令 元	97	4,140	188	22,200	21	38,100	15	804	165	4,276
2	87	4,020	181	22,900
3	83	3,990	174	22,700	21	42,100	22	778	144	3,908
4	81	3,920	170	22,500	20	46,500	17	831	146	4,254

注：平成22年、27年、令和2年の豚・採卵鶏・ブロイラー及び平成23年のブロイラーは調査休止。

資料：農林水産省「畜産統計調査」

3 林 業

(1) 徳島県の森林・林業主要指標

項目	単位	全 国	徳島県	占有率(%)	順位	資 料 出 所
総土地面積	千ha	377,974	4,147	1.1	36	全国都道府市区町村別面積調(R4)
総人口	人	126,226,568	719,704	0.6	44	国勢調査(R2)
総世帯数	世帯	55,719,562	307,835	0.6	44	
林野率	%	66.4	75.5	—	9	2020年農林業センサス
森林面積	ha	24,770,166	313,071	1.3	30	
国有林	ha	7,153,338	16,607	0.2	34	
民有林	ha	17,616,828	296,464	1.7	25	
人工林面積	千ha	10,133	190	1.9	23	
人工林率	%	42	61	—	9	
森林蓄積	千m ³	12,230,318	116,628	1.0	30	
国有林	千m ³	6,918,022	18,354	0.3	32	
民有林	千m ³	5,312,296	98,273	1.8	23	
保安林面積	ha	12,260,789	116,844	1.0	30	
国有林	ha	6,917,119	18,354	0.3	32	林野庁治山課調べ(R3.3.31)
民有林	ha	5,343,671	98,490	1.8	23	
林道延長	km	139,770	1,988	1.4	27	林野庁「森林・林業統計要覧2022」(R.3.31)
国有林	km	46,278	60	0.1	39	※幅員2.0m未満含む
民有林	km	93,493	1,928	2.1	20	
農林業経営体数	経営体	1,092,250	14,683	1.3	35	2020年農林業センサス
林業経営体数	経営体	34,001	264	0.8	37	2020年農林業センサス
林業経営体率	%	3.11	1.80	—	31	
林業産出額	千万円	48,394	1,064	2.2	14	
素材生産量	千m ³	—	418	—	—	「令和4年度木材需給実績報告書」
製材出荷量	千m ³	9,091	111	1.2	20	農林水産省「木材統計」(R3)
乾しいたけ生産量	トン	2,216	5	0.2	—	特用林産基礎資料(R3)
生しいたけ生産量	トン	71,058	7,047	9.9	1	徳島県「令和4年度みどりの要覧」
ひらたけ生産量	トン	4,463	0.2	0.00	—	徳島県「令和4年度みどりの要覧」
木炭生産量	トン	12,008	3	0.0	—	
竹炭生産量	トン	459	18	3.9	—	

(2) 林業経営体数

単位：経営体

年次	計	保有林なし	3ha未満	3~5	5~10	10~20	20~30	30~50	50~100	100~500	500~1,000	1,000ha以上
平 27	1,001	14	8	245	273	212	86	65	49	38	7	4
令 2	264	9	5	35	58	46	38	22	24	20	5	2

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

(3) スギ・ヒノキ人工林年齢別面積(令和4年3月31日現在)

単位：ha

区分	1 (1~5年生)	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15歳級以上	計
スギ	454	246	430	922	903	1,444	2,294	6,715	8,818	14,708	24,436	24,851	17,962	10,735	18,756	133,674
ヒノキ	33	10	210	601	1,321	2,758	3,225	5,171	4,532	4,191	4,231	3,302	2,575	1,432	2,698	36,290
計	487	256	639	1,523	2,223	4,201	5,520	11,887	13,350	18,899	28,668	28,153	20,537	12,167	21,454	169,964

注：1歳級は5年

資料：徳島県「令和4年度みどりの要覧」

(4) 樹種別生産量及び木材需要量

単位：1,000m³

年度	木材生産量									木材需要量		
	針葉樹				広葉樹				合計	年次	計	うち 製材用
	私有林	県有林	国有林	小計	私有林	県有林	国有林	小計				
平 21	175	2	6	183	14	0	0	14	197	21	409	282
22	192	3	6	201	5	0	0	5	206	22	458	282
23	224	9	4	237	6	0	0	6	243	23	431	271
24	246	6	4	256	8	0	0	8	264	24	480	270
25	263	12	4	279	12	0	0	12	291	25	499	268
26	251	14	3	268	11	0	0	11	279	26	518	276
27	292	14	6	312	11	0	0	11	323	27	499	255
28	321	16	6	343	10	0	0	10	353	28	572	247
29	341	15	10	366	10	0	0	10	376	29	577	235
30	336	17	10	363	8	0	0	8	371	30	556	217
令 元	389	16	6	411	9	0	0	9	420	1	687	207
2	325	11	6	342	30	0	0	30	372	2	620	190
3	361	14	6	381	27	0	0	27	408	3	649	193
4	379	26	6	411	6	0	0	6	418	4	621	171

資料：徳島県「みどりの要覧」、「木材需要実績報告書」

(5) 林業産出額及び生産林業所得

単位：1,000万円

年次	林業産出額					生産林業所得
	計	木材生産	薪炭生産	栽培きのこ類生産	林野副産物生産	
平 21	897	202	2	693	-	384
22	981	225	2	754	-	421
23	998	227	3	767	1	429
24	1,006	251	3	751	1	439
25	1,055	269	3	784	-	460
26	1,108	282	3	823	-	450
27	1,155	314	2	839	0	-
28	1,086	262	2	822	0	-
29	1,113	292	2	811	8	-
30	1,100	319	2	772	7	-
令 元	1,097	325	2	763	7	-
2	1,037	281	2	748	6	-
3	1,064	352	1	707	4	-

注：平成27年から、生産林業所得については全国値のみ

資料：農林水産省「生産林業所得統計」「林業産出額」

4 水産業

(1) 海面漁業漁業種別漁獲量・養殖魚種別収穫量及び産出額(R3)

	計 ①+②	海面漁業							
		小計 ①	船びき網	小型 底びき網	近海 まぐろ はえ縄	小型 定置網	採貝 採藻	その他の え縄	その他
漁獲(収穫)量(t)	20,352	10,971	4,409	1,436	978	877	...	370	2,901
生産額(億円)	97	45

	海面養殖業				
	小計 ②	魚類	わかめ類	のり類	その他
漁獲(収穫)量(t)	9,381	3,832	4,112	...	1,437
生産額(億円)	51

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」「漁業産出額」

(2)海面漁業・養殖業産出額

単位：100万円

年次	計	海面漁業	海面養殖業
平 22	13,669	7,272	6,397
23	16,018	8,518	7,500
24	14,986	7,836	7,150
25	14,069	7,586	6,482
26	12,334	6,181	6,153
27	11,257	5,508	5,749
28	11,215	5,732	5,483
29	10,743	5,810	4,933
30	11,086	6,452	4,594
令 元	10,484	5,997	4,487
2	9,749	4,524	5,225
3	9,722	4,589	5,133

資料：農林水産省「漁業産出額」

(3)海区別経営体数

	合 計	瀬戸内海区		太平洋南地区	
		漁 業	養 殖	漁 業	養 殖
2013	1,599	666	316	612	5
2018	1,321	574	272	472	3

資料：農林水産省「漁業センサス」

(4)経営体別階層別経営体数の構成割合

		合計	3t未満	3~5t	5~10t	10t以上	定置網	海面養殖	漁船非使用・無動力
		2013	経営体数	1,599	597	240	177	152	95
	割合		37.3	15.0	11.1	9.5	5.9	20.1	1.1
2018	経営体数	1,321	502	193	144	140	51	275	16
	割合		38.0	14.6	10.9	10.6	3.9	20.8	1.2

資料：農林水産省「漁業センサス」

(5)内水面漁業魚種別漁獲量

単位：t

年次	計	あ ゆ	う な ぎ	あゆ・うなぎ 以外の魚類	貝 類	水産動物類	藻 類
平 22	249	53	4	69	49	4	...
23	228	51	4	63	43	5	...
24	198	56	3	45	14	5	...
25	183	55	3	44	11	3	...
26	0	0	0	39	0	0	...
27	129	75	2	35	15	2	...
28	127	73	2	38	13	1	...
29	110	62	1	36	10	1	...
30	73	29	1	25	18	1	...
令 元	34	13	0	13	8	1	...
2	33	15	0	11	7	1	...
3	38	30	0	6	1	0	...

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」

(6)内水面養殖業魚種別収穫量

単位：t

年次	計	ま す 類	あ ゆ	う な ぎ	そ の 他
平 22	961	x	464	431	...
23	825	x	405	361	...
24	672	54	306	311	...
25	548	47	275	226	...
26	572	48	252	272	...
27	722	x	284	393	...
28	614	38	274	301	...
29	612	32	210	369	...
30	588	32	224	332	...
令 元	399	x	149	220	...
2	426	30	152	243	...
3	530	33	143	354	...

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」



阿波ふうど
AWA FOOD

2023グラフで見るとくしまの農林水産業

令和5年8月

編集・発行

徳島県(農林水産政策課)

徳島市万代町1-1

088-621-2425

088-621-2854(FAX)